

平成 23 年 度

可児市教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成 24 年度実施)

可 児 市 教 育 委 員 会



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第  
27条第1項の規定により、平成23年度可児市教  
育委員会事務の点検及び評価の報告書として本  
書を提出します。

可児市教育委員会

# 目 次

平成23年度可児市教育委員会事務の点検・評価のあらまし・・・・・・・・	3
教育委員会事務局の事業の実施状況等について・・・・・・・・	10
基本目標ごとの点検及び評価の結果	
【基本目標】	
夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育・・・・・・・・	12
【基本目標】	
あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり・・・・・・・・	26
【基本目標】	
市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習・・・・・・・・	36
【基本目標】	
健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動・・・・・・・・	48
【基本目標】	
文化・芸術の創造と歴史の継承・・・・・・・・	58
【全体の推進体制】・・・・・・・・	74
用語解説・・・・・・・・	78
(点検評価シート中 印の字句について解説)	

## 平成23年度可児市教育委員会事務の点検・評価のあらまし

市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)」第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、学識経験者(外部評価委員)の知見を活用した教育委員会事務の点検・評価を実施しています。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

教育委員会の権限に属する事務は、次のとおり「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に規定されています。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育委員会の職務権限)

第23条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

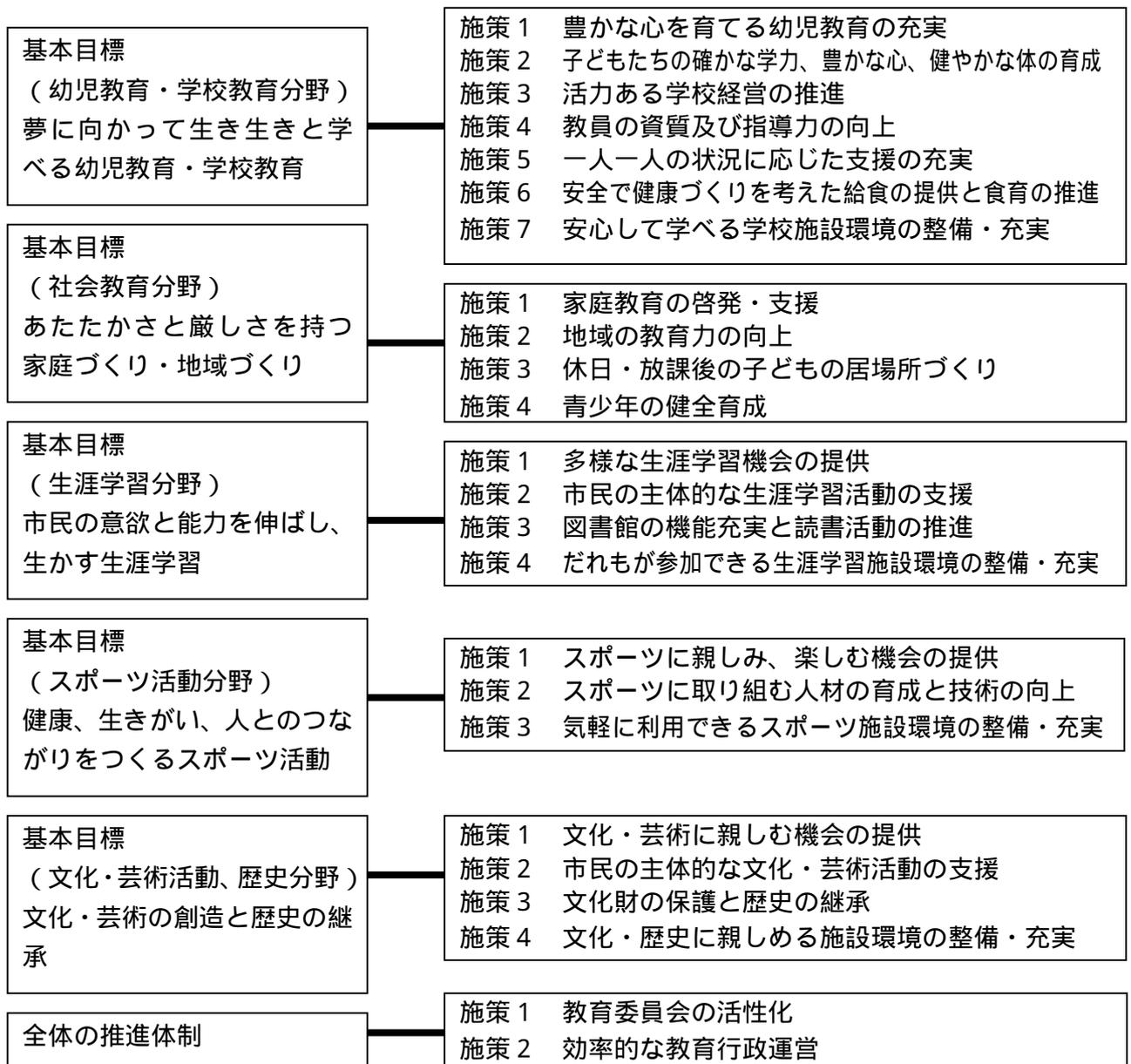
- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関(以下「学校その他の教育機関」という。)の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産(以下「教育財産」という。)の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

市教育委員会では、平成23年3月に「可児市総合計画」の教育分野をさらに具体化し、中長期的かつ総合的な展望に立って計画的に教育課題の解決を図るための指針として「可児市教育基本計画」を策定しました。同計画は、平成23年度から平成32年までの10年間の可児市の教育の方向性を示すとともに、平成23年度から平成27年度までに取り組む具体的な施策（前期計画）を定めています。平成23年4月からの計画の運用開始に伴い、毎年度の“方針と重点”を、計画に掲げた5年間で実現する目標の単年度での到達目標を掲げるものとして位置づけました。

本点検・評価は、「可児市教育基本計画」の進捗管理としても実施しています。

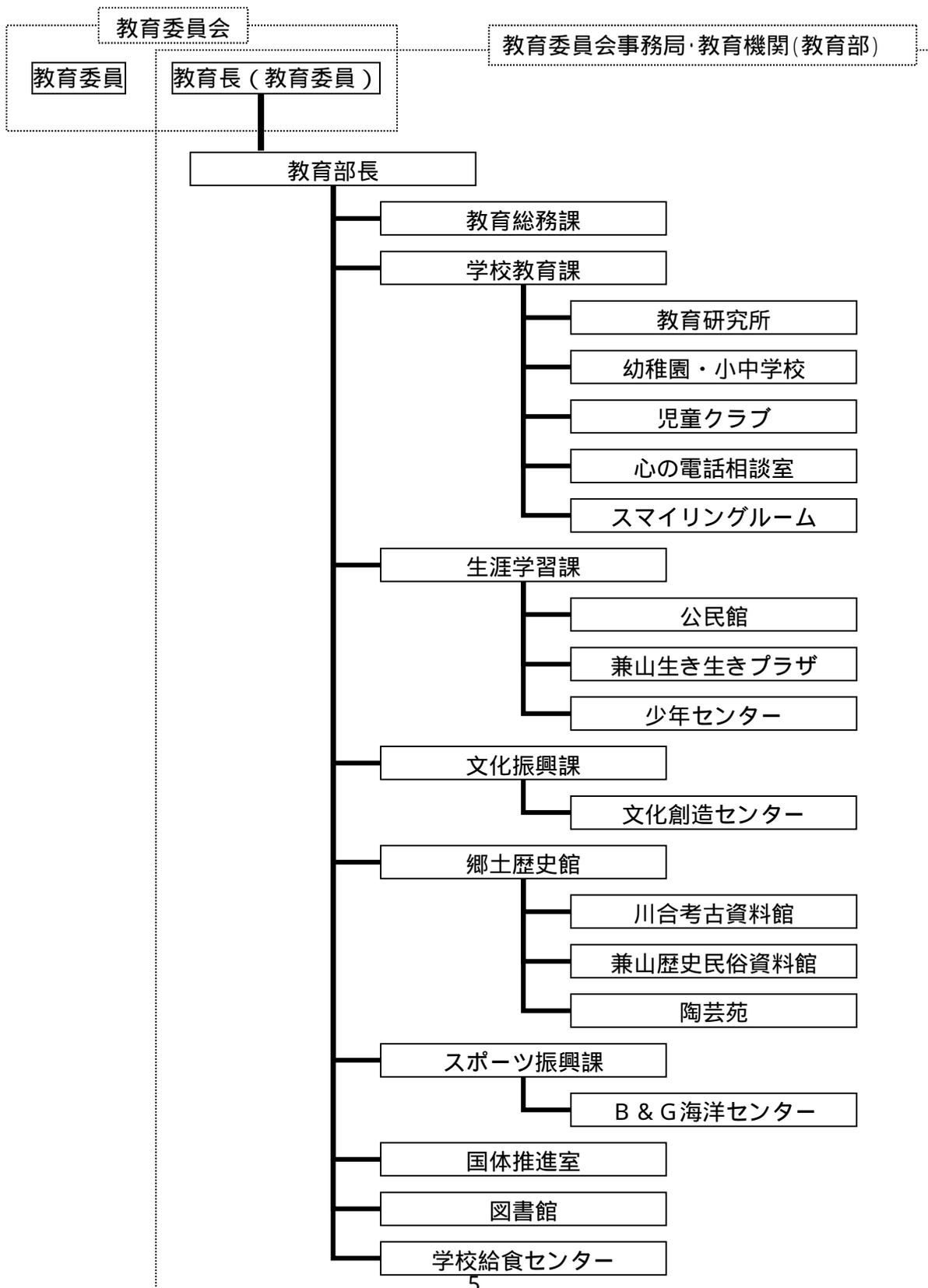
【可児市教育基本計画の基本目標と施策】

「可児市教育基本計画」では、基本理念「ともに学び、ともに育み、だれもが輝くまち・可児」を実現するために、教育・学習を5つの分野と全体の推進体制に分類し、重点的に取り組む項目として、次のとおり24施策を掲げました。



市教育委員会の組織は、「可児市教育委員会の事務組織等に関する規則(平成6年可児市教育委員会規則第7号)」に定められており、この中でこれらの事務が教育委員会事務局各課及び各教育機関に割り振られ、それぞれ事業を展開しています。

【可児市教育委員会組織図】



【各課及び教育機関の主な事務分掌】

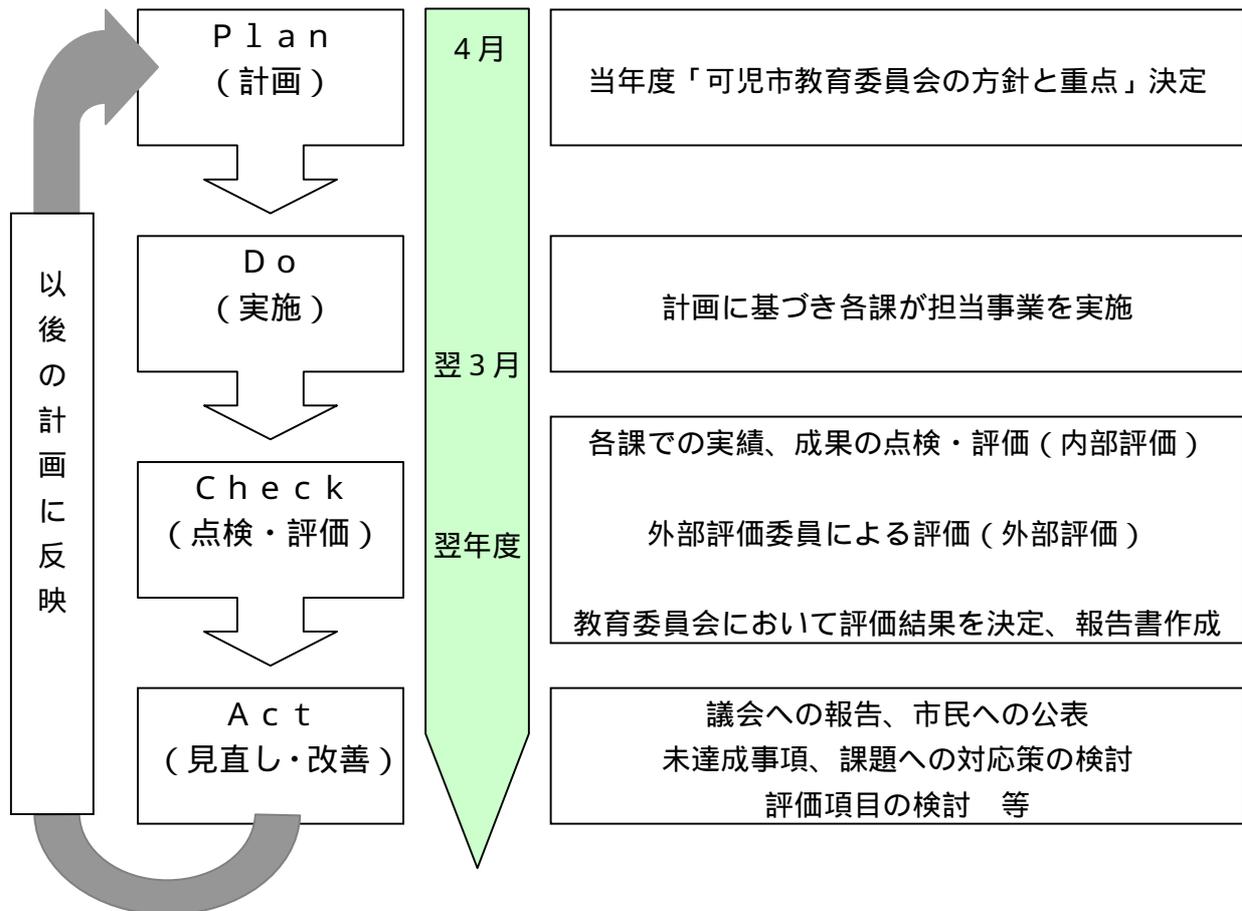
課・教育機関名	主な事務分掌
教育総務課	教育部の全体調整、教育施策の企画立案、教育委員会会議、教育委員会規則・訓令の制定改廃、公印の管守、教育委員会表彰、教育財産の管理、教育施設の建設・営繕・管理、学校職員住宅の管理、職員の人事・服务等
学校教育課	学校の組織・編成・教育課程・学習指導・生活指導・職業指導等、入学・転学・卒業等、学校保健、就学援助、教職員の研修、教職員人事の内申、教科書、教育に関する調査・統計、スマイリングルームの運営、心の電話相談室等各種相談事業、教育に関する調査・研究、児童クラブの運営
生涯学習課	生涯学習の推進、生涯学習講座の実施、生涯学習の情報収集・啓発、生涯学習指導者・社会教育団体の育成・支援、社会教育委員、少年センターの運営、青少年育成、公民館・兼山生き生きプラザの管理運営、家庭教育学習、高齢者大学・大学院、手づくり絵本大賞、成人式
文化振興課	文化・芸術の振興、文化創造センターの管理運営（指定管理者の監理）、文化団体の育成・支援、文化財の指定・調査、指定文化財の管理・保護、文化財審議会
郷土歴史館	郷土歴史館・川合考古資料館・兼山歴史民俗資料館・陶芸苑の管理運営、郷土資料等の調査・記録
スポーツ振興課	スポーツ大会・教室の企画・開催、体育施設の管理運営、学校体育施設の開放、総合型スポーツ・文化クラブの運営支援、体育団体の育成・支援、体育指導委員・体育推進員、財団法人可児市体育連盟の支援、B & G財団関連事業
国体推進室	国体競技の開催、国体の啓発
図書館	図書の貸出サービス、移動図書館の運行、読書活動の推進・啓発、図書館資料の収集・整理、図書館の管理運営、図書館分館の管理運営
学校給食センター	学校給食の提供、給食指導、食育の推進・啓発、学校給食センターの管理運営、学校給食費経理、給食物資の発注・受入

平成24年度は、平成23年度に行った事業について、次の内容の点検・評価を実施しました。

教育委員会事務局の事業の実施状況等について

「可児市教育基本計画」に掲げた24施策のうち、「可児市教育委員会の方針と重点」において平成23年度に重点的に取り組むと掲げた項目の実施状況や成果等についてその達成状況を点検・評価しました。

点検・評価の流れは次のとおりです。



点検・評価は、重点項目ごとに『点検評価シート』を作成して行いました。（様式について詳しくは8，9ページをご覧ください。）「施策の実施状況、成果」、「課題」、「今後の方針」の各項目により事業の点検を行なったうえ、AからDまでの総合判定をしています。

AからDまでの判定基準は次のとおりです。

- A：順調に達成.....当該重点項目について、年度当初に立てた組織目標をすべて達成することができたものです。
- B：おおむね順調に達成...当該重点項目について、年度当初に立てた組織目標をおおむね達成することができたものです。
- C：一部未達成.....当該重点項目について、事業を実施しましたが、年度当初に立てた目標を達成することができなかったものです。
- D：達成していない.....当該重点項目に対する事業実施に着手できなかったものです。  
(事業の廃止を含みます。)

また、施策の達成状況は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その進捗状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取り組みについて、「参考指標」欄に開催回数・参加人数などを記載しました。なお、平成23年度は市民アンケートを実施していませんので、市民アンケートによる指標については、空欄となっています。また、平成23年度については市民満足度調査による指標を記入してあります。

今後も、点検・評価を毎年度繰返し実施することで、点検・評価の方法や公表の仕方にも工夫を凝らし、市民の皆さまに分りやすいものとなるよう努めてまいります。

【様式について】

点検評価シートの項目ごとの記載内容は、次のとおりです。

平成〇年度 教育委員会事務事業の執行状況 点検評価シート

		担当課	〇〇課	〇 / 〇
<b>平成〇年度の重点</b>				
<b>基本目標名</b>				
<b>施策名</b>				
<b>主な取組の内容</b>	「教育委員会の方針と重点」に記載した内容です。			
<b>主な予算事業名</b>	主な予算事業名です。			
<b>施策の実施状況、成果</b>				
達成状況、成果の記述です。				

担当課	〇〇課	〇 / 〇
-----	-----	-------

施策の課題及び今後の方針	
課題	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">           施策についての課題と今後の方針です。         </div>
今後の方針	
評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;"><b>施策の総括</b></p>           総合判定と施策を総括したコメントです。総合判定については            A = 順調に達成、B = おおむね順調に達成、C = 一部未達成、D = 達成していない。と、なっています。         </div>

参考指標			
指標名	指標の説明	平成21年度 [目標数値]	平成23年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;">           施策の進捗状況の参考数値です。            なお、市民アンケート及び市民満足度調査における数値については、             5 = 満足、4 = どちらかといえば満足、3 = どちらともいえない、2 = どちらかといえば不満、1 = 不満。と、なっています。         </div>			

## 教育委員会事務局の事業の実施状況等について

重点33項目の判定結果は、A判定30件、B判定3件で、C・D判定となった項目はありません。このことから、平成23年度の事業については、一部課題はあるもののおおむね順調に達成することができたといえます。A判定項目も含めて、各項目の「今後の方針」を踏まえた事業推進・改善に役立てていきます。

基本目標ごとの評価は次のとおりです。各施策の点検評価の詳細は、12ページ以降に掲載しています。

### 【基本目標】夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育

施策名		担当課	頁	評価
1	豊かな心を育てる幼児教育の充実	学校教育課	12	A
2	子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成	学校教育課	14	A
3	活力ある学校経営の推進	学校教育課	16	A
4	教員の資質及び指導力の向上	学校教育課	18	A
5	一人一人の状況に応じた支援の充実	学校教育課	20	A
6	安全で健康づくりを考えた給食の提供と食育の推進	給食センター	22	A
7	安心して学べる学校施設環境の整備・充実	教育総務課	24	B

### 【基本目標】あたたかさや厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり

施策名		担当課	頁	評価
1	家庭教育の啓発・支援	生涯学習課	26	A
2	地域の教育力の向上	生涯学習課	28	A
3	休日・放課後の子どもの居場所づくり	学校教育課 生涯学習課	30 32	A A
4	青少年の健全育成	生涯学習課	34	A

【基本目標】市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習

施策名		担当課	頁	評価
1	多様な生涯学習機会の提供	生涯学習課	36	A
2	市民の主体的な生涯学習活動の支援	生涯学習課	38	A
3	図書館の機能充実と読書活動の推進	図書館	40	A
4	だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実	教育総務課	42	A
		生涯学習課	44	A
		図書館	46	B

【基本目標】健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動

施策名		担当課	頁	評価
1	スポーツに親しみ、楽しむ機会の提供	スポーツ振興課	48	A
2	スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上	スポーツ振興課	50	A
		国体推進室	52	A
3	気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実	教育総務課	54	A
		スポーツ振興課	56	A

【基本目標】文化・芸術の創造と歴史の継承

施策名		担当課	頁	評価
1	文化・芸術に親しむ機会の提供	文化振興課	58	A
		郷土歴史館	60	A
2	市民の主体的な文化・芸術活動の支援	文化振興課	62	A
3	文化財の保護と歴史の継承	文化振興課	64	A
		郷土歴史館	66	A
4	文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実	教育総務課	68	A
		文化振興課	70	A
		郷土歴史館	72	A

【全体の推進体制】

施策名		担当課	頁	評価
1	教育委員会の活性化	教育総務課	74	B
2	効率的な教育行政運営	教育総務課	76	A

担当課	学校教育課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
<b>施策名</b>	1 豊かな心を育てる幼児教育の充実
<b>主な取組の内容</b>	幼稚園・保育園・小中学校の連携、交流（ - 1 - (2) ） 小1プロブレム（ 7 ）などの課題を共有し、発達段階に応じた指導の研修や研究会を充実していく。 幼稚園での子育て支援の充実（ - 1 - (5) ） 就学前の子どもに関する保育、教育等協議会の円滑な運営と本年度中に方針の提言をいただく。
<b>主な予算事業名</b>	幼稚園管理経費 幼稚園教育振興経費 私立幼稚園支援事業 教育研究所一般経費

**施策の実施状況、成果**

幼稚園・保育園・小中学校の連携、交流（ - 1 - (2) ）  
幼稚園教育協議会を通じ私立幼稚園との連携を深め、幼児教育の理念や方針について相互理解を図った。また、8月4日に幼保小中高連携講座を開催した。午前中開催した3コースの中のAコースは瀬田幼稚園で実施し、幼稚園児の発達について理解を深めた。午後開催した講演会では前東濃子ども相談センター家庭支援課長より児童虐待について指導を受けた。この他、本年度実施した教育研究所の講座に、幼稚園・保育園の職員が合計で60名参加した。さらに、研究所指導主事が2つの幼稚園の園内研究会に5回出向き、幼児へのよりよい支援の在り方について指導助言をした。また、幼稚園での相談対応や、養護訓練センターと連携した研究所での相談等を行った。

幼稚園での子育て支援の充実（ - 1 - (5) ）  
5月30日に第1回就学前の子どもに関する保育、教育等協議会を開催し、合計では予定より多い6回を開催し、3月23日に提言書を市長に提出していただいた。



就学前の子どもに関する保育、教育等協議会（第6回）の様子



幼・保・小・中・高連携講座の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	就学前の子どもに関する保育、教育等協議会の提言を受け、今後の幼児教育について教育の観点等から関係課との協力をする。
------------	---

<b>今後の方針</b>	幼児教育の所管替えをしたので、小1プロブレムなどの課題を共有し発達段階に応じた指導についての協力をしていく。
--------------	--

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
		<p>幼小中高の連携講座を開催するとともに、幼稚園教育への指導や、相談対応ができた。</p> <p>就学前の子どもに関する保育、教育等協議会による提言書の提出ができ、協議会がその役割を終了した。</p>

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
幼稚園、保育園、小中学校教育連携研究会開催回数	開催回数(回)	0	1
小中学校と幼稚園、保育園の交流会開催回数	交流会開催回数(回)	0	2
「幼児教育に関する施策の充実」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.10	
「幼児教育・学校教育を充実し、子どもを健やかに育てる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.67

		担当課	学校教育課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育		
<b>施策名</b>	2 子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成		
<b>主な取組の内容</b>	<p>確かな学力の向上（ - 1 - (1) ）                      学力状況調査の積極的な活用を指導する。                      学校生活全般と市主催の発表会等を生かして、コミュニケーション能力の向上をめざす。</p> <p>心の教育の推進（ - 1 - (3) ）                      いじめに関する第三者機関設立に向け、教育的視点に立った提言を行う。                      学級アセスメント調査（ 8 ）等で児童生徒の学級把握に努める指導をする。                      児童会生徒会の自治的活動を紹介し、自らの生活改善に取り組んでいる情報を広げる。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	学校教育一般経費 スクールサポート事業 教育研究所一般経費 学校図書館運営事業 外国語教育推進事業 小学校教育振興一般経費 小学校教材備品購入事業 小学校情報教育推進事業	中学校教育振興一般経費 中学校教材備品購入事業 中学校情報教育推進事業	
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>確かな学力の向上（ - 1 - (1) ）                      東日本大震災の影響で本年度の全国学力・学習状況調査は中止となった。なお、問題冊子等については、全小中学校で活用した。                      各小中学校から1名ずつ選出された学校所員が、「自ら考え、仲間と練り上げ、発信する子の育成 ～ 練り合いのある授業と言語活動の充実を求めて～」をテーマに研究実践を進めた。その成果を、教育講演会や各学校の校内研の機会を通して全教職員に広めた。                      10月20日に西可児中学校区エデュース9公表会を開催した。「考えを持ち、仲間と進んでかわりながら理解を深める児童生徒の育成」をテーマに授業公開と全体会を通して研究実践の成果を発表した。</p> <p>心の教育の推進（ - 1 - (3) ）                      いじめ防止第三者機関検討委員会（ 9 ）において、複雑・深刻化した事案の際に学校を助けるという観点から、事務局の一員として理解を求め続けた。提言では、弁護士や臨床心理士などの専門家の配置、スクールカウンセラーの増員等が提言された。平成24年度より可児市いじめ防止専門委員会が設置される。                      学級アセスメント調査を実施し、その使い方について講習会を開催した。全学校の担当教員に対する研修を3回、自主参加式の研修会を4回実施し、学級集団の状態をより正確に把握できるようにした。                      生徒会サミットの開催や校区ごとの小中合同の活動、あいさつ運動やアルミ缶集めなど児童会や生徒会の自治的な動きがなされた。教育長訪問や校長会、教頭会などの場で紹介し、該当校の良さを認めたり、他校の活動の良さを情報伝達した。</p>			
 <p>エデュース9公表会</p>		 <p>エデュース9公表会時の授業風景</p>	

担当課	学校教育課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>新規事業「可児市学校教育力向上事業」( 10)を軌道に乗せ、児童生徒がす ごしやすく学びやすい学校づくりを支援する。 平成24年度設立される可児市いじめ防止専門委員会と連携し、児童生徒が安心 して学校生活を送れるよう支援する。</p>
------------	--

<b>今後の方針</b>	<p>「可児市学校教育力向上事業」や「スクールサポート事業」、「教育研究所事 業経費」などの諸事業によって、総合的に学校や児童・生徒を支援し、すごしや すく学びやすい学校づくりを目指す。 可児市いじめ防止専門委員会との連携や、スクールカウンセラー、教育相談な どを活用し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援する。</p>
--------------	--

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
	<p>東日本大震災の影響で参考指標を導くことができなかったが、事 業の実施により児童生徒の学習や生活面での支援を充分に行うこと ができた。</p>	

- |  |
|--|
| <p>A 順調に達成<br/>B おおむね順調に達成<br/>C 一部未達成<br/>D 達成していない</p> |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施  
状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
学力・学習状況調査の結果	全国学力・学習状況調査で正解率8割以上の項目と国平均正解率8割以下でそれを上回った項目 / 全出題項目 (%)	74.0 (H22.4実施小中平均)	東日本大震災のため中止
体力・運動能力、運動習慣等調査の結果	全国体力・運動能力、運動習慣等調査で到達目標値に達した児童・生徒の割合	72.0 (H22.4~7実施小中平均)	東日本大震災のため中止

担当課	学校教育課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
<b>施策名</b>	3 活力ある学校経営の推進
<b>主な取組の内容</b>	体験学習の推進（ - 3 - (1) ） 各小中学校の地域力を活かした活動の支援を行う。 国際理解教育・多文化共生教育の推進（ - 3 - (2) ） A L T（ 11 ）の効率的な活用とその検証を行う。 小学校の英語活動導入に伴う中学校の英語教科との連携の研究と指導をしていく。
<b>主な予算事業名</b>	外国語教育推進事業 教育委託助成事業 ばら教室K A N I（ 12 ）運営事業 小学校教育振興一般経費 中学校教育振興一般経費

**施策の実施状況、成果**

**体験学習の推進（ - 3 - (1) ）**  
 学校の教育目標や具体的な願う子どもの姿の具現に向けた体験学習を実施することにより、自ら学び自ら考える力の育成や豊かな心を育む実践ができた。  
 活動の支援を行うため、体験学習と関わりが強いエデュース9の庁内会議を開催し、関係課に協力を求めることができた。  
 体験学習のパネル展を開催し、他の学校の取り組みを示すことができた。

**国際理解教育・多文化共生教育の推進（ - 3 - (2) ）**  
 A L T 4名の市内幼稚園・小学校・中学校への派遣を行った。小学校においては、新学習指導要領の実施に伴って5・6年生に重点的に派遣した。  
 A L Tの効率的な活用について研修会を持つとともに、A L T自身の指導能力についても検証し改善を促した。  
 可児市学校教育研究会の小中英語部会に各小中学校の英語担当が参加し、授業研究を基に研究討議や小中の実践交流を行った。研究会では可茂教育事務所の指導主事等の助言を受け、小中の連携の強化やスキルアップを図った。



A L Tによる授業風景（ E 9 公表会にて）



スーパーバイザーによる指導方法の指導

担当課	学校教育課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

課 題	各学校が行う特色ある学校作りを支援し、幅広い体験を通じた社会性の育成や知識を深める活動などを支援するが、内容の精査やより効果的な事業の模索、地域の教育力活用の促進を図る。	
今後の方針	体験学習補助金交付について、その内容を精査し適切な補助金交付により児童生徒の自主的な取組を支援していく。 ALTの効果的な運用を研究していく。	
評 価	A	<p align="center"><b>施策の総括</b></p> <p>体験学習事業補助金の交付及び指導ができた。 英語指導助手派遣事業の実施及び小中連携など充実した研修ができた。</p>

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
学校関係者評価得点率	可児市小中学校自己評価平均 (A-D評価を5点満点換算)	3.0	3.1
エデュースコーディネーター実施数	実施中学校区数(校)	1	0
地域活動への参加状況	春の「花いっぱい運動」への児童生徒の参加率(%)	75.2	69.7

担当課	学校教育課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
<b>施策名</b>	4 教員の資質及び指導力の向上
<b>主な取組の内容</b>	教員研修の充実（ - 4 - (1) ） 自主研修の充実と指導の援助を行う。 いじめや生徒指導を主眼とした研修の実施。 エデュース9指定校事業の推進（ - 4 - (3) ） 西可児中学校校区で行われる指定校事業の支援を行う。
<b>主な予算事業名</b>	学校教育一般経費 教育研究所一般経費 教育委託助成事業

**施策の実施状況、成果**

教員研修の充実（ - 4 - (1) ）  
 4月当初から4回に分けて、新規採用の講師を対象にして「土曜塾」を実施した。9月からは毎月1回3月末まで、経験年数の少ない教員を対象にした「学級塾」を実施した。次年度も継続していけるように計画する。  
 生徒指導主事会、幼小中高生徒指導連絡協議会では、各学校の取組について実践交流や職員研修を実施した。  
 校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会の機会を通じて、いじめの撲滅や生徒指導に関わる情報提供を積極的に行った。QUアンケート（ 8 ）の分析や望ましい学級集団づくりに向けての職員研修を3回実施し92人が参加した。  
 エデュース9指定校事業の推進（ - 4 - (3) ）  
 西可児中学校区エデュース9公表会に向けて3回の打ち合わせ会を実施した。学校教育課より、該当校の校長等に、研究の方向、話し方・聞き方に関する指導、小中学校の連携等について、指導助言を行った。なお、公表会当日は、364名の教職員が参加した。



「学級塾」の様子



QU講座の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	<p>Q Uアンケートを活用する力を高める研修をする。            教員に求められる能力が多岐・多様になっており、技術力の向上研修は実施しているが、教員の精神面での強化・ケアの必要性もある。一方で教員の多忙さの改善が必要である。            学校でのエデュース9を支援し、学校の教育力向上を維持する。</p>			
今後の方針	<p>これまでの研究所による研修に加え、「可児市学校教育力向上事業」による専門的な研修に力を入れ、教職員のスキルの向上を図る。</p>			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td> <p>各種研修会の実施し、教職員のスキルアップができた。                Q Uアンケートを小学5年生～中学3年生まで拡大して実施し活用できた。                エデュース9の研究指定校支援を行った。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括	<p>各種研修会の実施し、教職員のスキルアップができた。                Q Uアンケートを小学5年生～中学3年生まで拡大して実施し活用できた。                エデュース9の研究指定校支援を行った。</p>
A	施策の総括			
	<p>各種研修会の実施し、教職員のスキルアップができた。                Q Uアンケートを小学5年生～中学3年生まで拡大して実施し活用できた。                エデュース9の研究指定校支援を行った。</p>			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
教員研修参加率	年度中に3回以上研修に参加した教員の割合(%)	73.0	89.1

担当課	学校教育課
-----	-------

平成23年度の重点	
基本目標名	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
施策名	5 一人一人の状況に応じた支援の充実
主な取組の内容	障がいや発達のおぼろげのある子どもに対する支援（ - 5 - (1) ） 本年度開設する「ふれあい教室かに」（ 13 ）の円滑な運営と支援をする。 特別な支援を必要とする子どもに対して、ケース会議（ 14 ）により個別の支援計画表を作成する。 教育研究所における各種相談活動の充実（ - 5 - (4) ） 子どもや保護者の相談窓口として、開かれた窓口の広報に努め、心のケアに対処していく。
主な予算事業名	学校教育一般経費 スクールサポート事業 ばら教室KANI運営事業 教育研究所一般経費 小学校就学援助事業 中学校就学援助事業

**施策の実施状況、成果**

障がいや発達のおぼろげのある子どもに対する支援（ - 5 - (1) ）  
「ふれあい教室かに」の開設にあたり開設前に他市の実践を視察し指導の仕方や教室環境を整えることに役立てた。  
夏の教育講演会で「ふれあい教室かに」の実践を市内の全職員に対して伝え、理解を得られるようにした。  
就学指導委員会などを通して、各校の特別な支援を必要とする子どもの実態を把握し、適切な配慮ができるようなケース検討をした。就学指導委員会で個別の支援計画の作成を呼びかけ、教育長訪問の際に各校の支援計画表が作成されているかを見届けた。  
教育研究所における各種相談活動の充実（ - 5 - (4) ）  
可児市教育研究所（ 15 ）で実施している相談事業を紹介するカードを、9,000枚作成し全小中学校に配付した。平成24年度小学校1年生については4月に配付した。  
本年度3月までに、電話相談は228件・来所相談は153件行った。この他、同時期までに臨床心理士によるカウンセリングには81件、発達と教育の相談会には27件の相談者があった。



不登校生徒の保護者の高校見学



不登校対策講座の様子

担当課	学校教育課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	発達障がいを理解した対応方法を広める。また、関係機関との連携を深める。教育研究所での教育相談事業の広報と周知を図ることを継続する。		
<b>今後の方針</b>	児童生徒の個々の特性に合わせた支援や保護者への支援も含め、子ども達の発達について支援していく。 「可児市学校教育力向上事業」により、発達障がいの理解と対応、関係機関との連携を促進する。 ばら教室 K A N I を改築する。		
<b>評 価</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;"><b>施策の総括</b></td> <td>一人ひとりに必要な支援を行ってきた。教育相談により保護者の不安への対策も実施できた。不登校児童生徒の学校復帰率が向上した。</td> </tr> </table>	<b>施策の総括</b>	一人ひとりに必要な支援を行ってきた。教育相談により保護者の不安への対策も実施できた。不登校児童生徒の学校復帰率が向上した。
<b>施策の総括</b>	一人ひとりに必要な支援を行ってきた。教育相談により保護者の不安への対策も実施できた。不登校児童生徒の学校復帰率が向上した。		

A
↑
A 順調に達成 B おおむね順調に達成 C 一部未達成 D 達成していない

**参 考 指 標**

指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
LD・ADHD等対応通級指導教室数	LD・ADHD等対応通級指導教室の設置校数(校)	0	1
外国人生徒の高等学校進学率	高等学校に進学した外国人生徒/中学校を卒業した外国人生徒(%)	79.2	77.8
不登校児童の出現率(小学校)	児童100人あたりの出現率(%)	0.32	(参考H22は0.34)
不登校生徒の出現率(中学校)	生徒100人あたりの出現率(%)	2.93	(参考H22は2.88)
スマイリングルーム(16)の利用率	スマイリングルーム通学児童生徒数/不登校児童生徒数(%)	30.0	33.0
不登校児童の学校復帰率(小学校)	継続的に登校できるようになった児童数/不登校児童数(%)	21.1	31.0
不登校生徒の学校復帰率(中学校)	継続的に登校できるようになった生徒数/不登校生徒数(%)	12.8	23.8

担当課	学校給食センター
-----	----------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育
<b>施策名</b>	6 安全で健康づくりを考えた給食の提供と食育の推進
<b>主な取組の内容</b>	<p>安全で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の提供（ - 6 - (1) ）          献立作成委員会を開催し、栄養バランスのよい学校給食を提供する。          食中毒を防止するため衛生管理を徹底するとともに、これに関する知識と調理技術の習得をめざした研修に参加する。          学校給食費の適正な徴収を進める。</p> <p>安全な食材確保と地産地消の推進（ - 6 - (2) ）          給食用物資購入選定委員会を開催し、安全で良質な食材を吟味して購入する。          可児市産を含む県内産の食材をできる限り使用する。</p> <p>学校における食育の推進（ - 6 - (3) ）          食について正しい知識を身につけ、望ましい食習慣を養うため、学校と連携し、栄養教諭、学校栄養職員による学校訪問指導を実施する。          献立表への使用食材の記載や、希望により栄養成分配合表等の情報提供を行うなど保護者との緊密な連携を図り食物アレルギーへの対応を進める。          給食残渣の資源化を推進し活用を進める。</p> <p>家庭における食育の推進（ - 6 - (4) ）          試食会などを通じて、保護者に対し、正しい食習慣を身につけることや朝食の大切さ、家族と一緒に楽しく食べることの大切さについて啓発する。          献立表や給食だよりを配布し、食に関する情報の提供や啓発を行う。</p>
<b>主な予算事業名</b>	給食センター運営経費 給食センター管理経費

**施策の実施状況、成果**

	<p>安全で栄養バランスがとれたおいしい学校給食の提供（ - 6 - (1) ）          毎月（7月を除く）開催する献立作成委員会の協力を得ながら、栄養士、調理員、事務職員が一体となって給食業務に取り組み、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供した。          県、可茂地区の研修会に参加したほか、センター内での各種研修会や毎日のミーティングを通して協議を重ね、衛生管理をはじめとした各種マニュアルを見直し、調理技術の向上と衛生管理の効用を図った。          学校と連携し「学校給食事務取扱いマニュアル」に基づき適正な事務を進めた。          各学校へ出向き収納状況を把握して指導を進めるとともに、滞納する保護者に対し、在学者は学校で、それ以外は給食センターで滞納整理に努めた。（現年度徴収実績473,188,067円（収納率99.40%））          平成23年度子ども手当の支給に関する特別措置法に基づき、学校と連携して申し出による滞納費用の徴収事務を進め、6件87,220円の申し出を受けた。</p> <p>安全な食材確保と地産地消の推進（ - 6 - (2) ）          給食用物資購入選定委員会を毎月（8月を除く）開催し、安全で良質な食材を選定し購入した。          購入食材12検体を毎月（8月を除く）検査機関に提出し、安全確保に努めた。          地産地消を推進するため、可児市産を含む県内産農産物の使用に努めた。（県内産に対する可児市産の使用割合9.1%、総使用量対する県内産の使用割合23.8%）</p> <p>学校における食育の推進（ - 6 - (3) ）          食に関する指導（学校訪問指導）を積極的に進めた。（指導クラス数延べ311）          学校給食センターからのお便りを作成し、今日の献立内容や使用食材に係る健康や食文化について給食時間に毎日放送した。          献立表へ使用食材を記載するとともに、食物アレルギーがある子を持つ保護者の希望者に栄養成分配合表を送付するなどの情報提供を行い、食物アレルギーへの対応を進めた。          給食残渣の一部を堆肥化し、市内小中学校等へ配布して活用を図った。（配布実績806kg）</p> <p>家庭における食育の推進（ - 6 - (4) ）          試食会等の機会を利用して、保護者に対し食に関する啓発を行った。（15回、参加人数625人）          毎月配布する給食だよりや献立表の一部利用して、食に関する情報を提供した。</p>
--	--

担当課	学校給食センター
-----	----------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>○安全でおいしい学校給食を提供していくために、衛生管理を徹底していく必要がある。</p> <p>学校給食を活用した食に関する指導を進めていく必要がある。</p> <p>学校と連携し、学校給食費の適正な徴収を進める。</p>
------------	--

<b>今後の方針</b>	<p>衛生管理の徹底を図るため、職員研修を実施し、衛生管理マニュアルを見直して精度を高めていくとともに、安全でおいしい給食を提供していく。</p> <p>安全で安心して食べられる良質な食材を確保していくとともに、県内産を含む地元農産物をできる限り多く使用していく。</p> <p>学校訪問指導を進めるとともに、試食会などを通じて、家庭での食育を推進する。また、堆肥化した給食残渣の活用を進める。</p> <p>給食費の適正な徴収を進め、収納率の向上をめざす。</p>
--------------	---

<b>評 価</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">A</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>施策の総括</b></p> <p>衛生管理を徹底し、安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を提供した。</p> <p>給食用物資選定委員会により安全で良質な食材の購入と地元農産物の選定に心がけ、安心して食べられる給食づくりを進めた。</p> <p>給食や学級活動などの時間を活用して食に関する指導を進めるとともに、給食費の適正な徴収と収納率の向上に努めた。</p> </div>
------------	---	---

- A 順調に達成
  - B おおむね順調に達成
  - C 一部未達成
  - D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
給食残食率	調査日における全体の残菜量(人分) / 出席者の数(人分)(%)	3.0	2.19
給食費収納率	納入総額 / 年間の給食費総額 (%)	99.2	99.40
食に関する指導の実施率	小中学校での食に関する指導の実施クラス数 / 全クラス数 (%)	84.2	95.99
「学校給食の充実」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.7	

		担当課	教育総務課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	夢に向かって生き生きと学べる幼児教育・学校教育		
<b>施策名</b>	7 安心して学べる学校施設環境の整備・充実		
<b>主な取組の内容</b>	学校施設の整備（ -7-(1)） 帷子小学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。 桜ヶ丘小学校及び兼山小学校屋内運動場の耐震補強実施設計を行う。 広見小学校配膳室の改修工事を実施する。 南帷子小学校他プールろ過機の改修を実施する。 蘇南中学校職員室の改修工事を実施する。 学校施設の管理（ -7-(2)） 学校施設の状況を的確に把握し、緊急度や優先度を見極め、適切な営繕工事を進める。 管理備品を適正に購入、施設の各種委託等により維持管理を適正に行う。 PFI（ 1）事業による学校給食センターの管理（ -7-(3)） モニタリング（ 2）を通じて学校給食センター施設の適正な維持管理を行う。 学校規模適正化の検討（ -7-(4)） 将来の学校規模を平準化するため、学校規模の適正化の基本的方針を策定する。		
<b>主な予算事業名</b>	小学校管理一般経費 小学校施設改修経費 小学校校舎大規模改造事業 中学校管理一般経費 中学校施設改修経費	学校給食センター建設事業 教職員住宅管理経費	
<b>施策の実施状況、成果</b>			
学校施設の整備（ -7-(1)） ○帷子小学校屋内運動場の耐震補強工事については学校開放利用と調整しながら夏休み期間中に主な工事を実施し、10月に完了した。 ○桜ヶ丘小学校及び兼山小学校屋内運動場耐震補強工事实施設計は1月に完了した。 ○広見小学校配膳室の改修工事は、夏休みを中心に実施し、9月に完了した。 ○南帷子小及び桜ヶ丘小学校のろ過機の改修をプール使用開始時まで完了した。 ○蘇南中学校職員室等学校施設の修繕は、授業に支障のないよう夏休みを中心に実施し、9月に完了した。 蘇南中学校屋内運動場屋根塗装改修工事は12月に完了した。 春里小学校屋内運動場屋根塗装工事は11月に完了した。 学校施設の管理（ -7-(2)） ○各学校からの要望を基に現場を踏査し、緊急度優先度を見極めながら営繕工事を実施した。 ○各学校からの要望を基にヒアリング及び現場を踏査し、老朽度緊急度を判断しながら購入した。水道設備、電気設備、昇降機の点検、夜間警備などを委託し、適正な施設管理を実施した。 今渡教職員住宅外壁塗装改修工事を3月に完了した。 PFI事業による学校給食センターの管理（ -7-(3)） 学校給食センターPFI参画事業者との定例会を開催し、事業の円滑化を図り、さらに維持管理のモニタリングを委託し、事業の適正化を図った。 学校規模適正化の検討（ -7-(4)） 学識経験者及び市民による学校規模適正化検討委員会（ 3）を組織し検討を進めたが、議論が白熱し当初予定日程より委員会の開催を増やしたため、パブリックコメント（ 4）に諮る素案までのまとめとなった。			
		帷子小学校 屋内運動場 耐震補強後 の内部	

担当課	教育総務課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>築造・改修後20年以上経過した建物が全体の60.3%以上を占め老朽化が進んでおり、なかでも30年以上経過した建物が18.5%を占めるため、大規模改造事業を計画的に進める必要がある。</p> <p>P F I事業は、平成31年度までの事業期間中、着実な事業実施が必要である。学校規模適正化検討委員会から提言受領後、その方向性を検討する必要がある。</p>
------------	---

<b>今後の方針</b>	<p>大規模改造事業を計画的に進めるとともに施設の状況を的確に把握し施設保全の優先度や修繕範囲を見極め効率的な修繕工事を実施し、施設の長寿命化・財政負担の軽減と平準化を図る。</p> <p>小中学校施設の耐震補強工事については平成24年度で完了する。</p> <p>学校給食センターP F I事業における維持管理業務の適正化をモニタリングを通じて図っていく。</p> <p>学校規模適正化検討委員会から提言を受け、教育委員会で検討のうえ、通学区域審議会への諮問等、方向性を決定する。</p>
--------------	---

<b>評 価</b>	<b>B</b>	<b>施策の総括</b>	<p>帷子小学校屋内運動場の耐震補強工事は計画どおり完了した。また営繕工事についても緊急度優先度を見極め適正に実施した。</p> <p>学校規模適正化の検討については、学校規模適正化検討委員会の開催回数が増え、提言書最終案までの策定はできなかったが、パブリックコメントに諮る素案までまとめることができた。</p>
------------	----------	--------------	--

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
市立幼稚園の耐震化率	耐震化されている建物棟数 / 市立幼稚園建物棟数 (%)	33.3	100
市立小学校の耐震化率	耐震化されている建物棟数 / 市立小学校建物棟数 (%)	94.3	96.2
市立中学校の耐震化率	耐震化されている建物棟数 / 市立中学校建物棟数 (%)	96.3	100

担当課	生涯学習課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり
<b>施策名</b>	1 家庭教育の啓発・支援
<b>主な取組の内容</b>	家庭教育学級の充実（ - 1 - (1) ） 義務教育までの子どもを持つ親を対象に、幼稚園、保育園、小中学校、公民館で乳幼児学級、家庭教育学級を開設し、基本的な生活習慣はもとより、人権なども含めた幅広い主体的な学びを支援する。
<b>主な予算事業名</b>	社会人権同和事業 家庭教育推進事業

**施策の実施状況、成果**

家庭教育学級の充実（ - 1 - (1) ）  
 ○市内全ての公民館、幼稚園、保育園、小学校、公立中学校において開設し、おおむね月1回の学習会を各学級で開催した。学習会の企画運営は、各学級の中から選ばれた役員により主体的に行った。学級開設数46学級、学級生数2,280人で、参加率は18.7%であった。  
 ○昨年度並みの学級生があり広く子どもを持つ親を対象に学びの支援ができた。また、各学級の役員が学級運営を通して組織運営を学び、今後の地域リーダーとしての活躍が期待できる。  
 各家庭教育学級で人権について考えることができるような時間を設定しているが、より深く学べる場になるよう人権教育「幸せ子育て講演会」を開催し89人が参加した。



人権教育の様子「幸せ子育て講演会」



家庭教育学級講座の様子「食育を学ぶ」

担当課	生涯学習課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児を持つ親が参加しやすい環境を整備する。</li> <li>○私立学校での開設を働き掛ける。</li> <li>○学級ごとの学級生数のばらつきを調整する。</li> </ul>				
<b>今後の方針</b>	<p>義務教育までの子どもを持つ親を対象に、幼稚園、保育園、小中学校、公民館で自主的な運営による乳幼児学級、家庭教育学級を開設し、家庭教育の学習の機会を提供すると共に地域における家庭教育のリーダーを育成する。 家庭教育学級の参加率を向上させるよう、事業の企画・運営をしていく。</p>				
<b>評 価</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;"><b>A</b></td> <td style="text-align: center;"><b>施策の総括</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td> <p>家庭教育学級において生活習慣やコミュニケーション能力など基本的な子育ての在り方を学び、保護者の仲間づくりと情報交換を行うことで家庭の教育力が高まった。</p> </td> </tr> </table>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>		<p>家庭教育学級において生活習慣やコミュニケーション能力など基本的な子育ての在り方を学び、保護者の仲間づくりと情報交換を行うことで家庭の教育力が高まった。</p>
<b>A</b>	<b>施策の総括</b>				
	<p>家庭教育学級において生活習慣やコミュニケーション能力など基本的な子育ての在り方を学び、保護者の仲間づくりと情報交換を行うことで家庭の教育力が高まった。</p>				

- |  |
|--|
| <p>A 順調に達成<br/>B おおむね順調に達成<br/>C 一部未達成<br/>D 達成していない</p> |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
家庭教育学級への参加率	家庭教育学級への参加人数 / 保護者数 (%)	16.9	18.7

担当課	生涯学習課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	あたたかさとしんしさをもちつ家庭づくり・地域づくり
<b>施策名</b>	2 地域の教育力の向上
<b>主な取組の内容</b>	託児ボランティアの養成（ - 2 - (3) ） 家庭教育に関わるボランティアを養成する。
<b>主な予算事業名</b>	家庭教育推進事業

**施策の実施状況、成果**

託児ボランティアの養成（ - 2 - (3) ）  
 ○子ども好きで子育て支援活動に興味のある市民を対象に大学教授等専門機関の講師による6回連続講座「子育てサポーター養成講座」を実施した。60人の受講があり、うち5回以上受講した33人に修了証を交付した。受講生から市子育てサポーターへの登録者7人があり、子育てサポーターの登録者数は144人となった。当講座は、子育てサポーターの既登録者が改めて勉強する機会としても活用している。



子育てサポーター養成講座の様子



子育てサポーターの活動の様子

担当課	生涯学習課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	○家庭教育学級の要請に十分に答えられるよう、ボランティアを増員することが必要である。 ボランティアの派遣方法等の運営体制の再構築が必要である。			
今後の方針	家庭教育に関わるボランティアを養成する。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>施策の総括</td> </tr> <tr> <td>地域で子育て支援活動に取り組む人を増やし、地域の教育力を高めた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	地域で子育て支援活動に取り組む人を増やし、地域の教育力を高めた。
A	施策の総括			
	地域で子育て支援活動に取り組む人を増やし、地域の教育力を高めた。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
子育てサポーター養成講座受講者数	受講者数(人)	43	60

		担当課	学校教育課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり		
<b>施策名</b>	3 休日・放課後の子どもの居場所づくり		
<b>主な取組の内容</b>	<p>児童クラブの効果的な運営と整備（ -3-(2) ）</p> <p>長期休業中及び土曜日以外の休日の子どもの居場所づくりに向けた、放課後児童クラブ新システム構築プロジェクト検討会議での情報提供や論議への参加と、教育的視点に立った提言を行う。</p> <p>1～3年生の現行児童クラブ（ 17 ）について、待機児童ゼロをめざしつつ、施設の維持管理に努め、老朽化した設備の修繕を計画的に行う。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	児童クラブ運営事業		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>児童クラブの効果的な運営と整備（ -3-(2) ）</p> <p>長期休業の対応として、健康福祉部こども課による「放課後児童クラブ新システム構築プロジェクトチーム」に参画し、南帷子小「夏休みキッズクラブ」の設立に教育的視点に立った提言を行った。また、既存の放課後児童クラブ所管課として運営（指導員）の提言を行った。</p> <p>児童クラブでの待機児童はゼロである。</p> <p>施設修繕については、今渡北小児童クラブの便器の改修と歩道整備、帷子小児童クラブの床改修、桜ヶ丘小児童クラブの床（ジュータン）ダニ等駆除清掃、廊下カーテンの取付を行い施設の維持管理及び保育環境の整備を行った。また、児童の健康管理のため熱中症対策、インフルエンザ対策のための備品等を購入、A E Dを全児童クラブ（10箇所）に設置した。</p>			

担当課	学校教育課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	既存の放課後児童クラブ、「キッズクラブ（長期休業中）」の効果的な運営・整備を図るために、関係課との協力体制をとる。			
今後の方針	こども課に移行			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>「帷子キッズクラブ」での夏休み、冬休み、春休みでの運営に関してボランティアと既存の放課後児童クラブ指導員との連携を図った。 児童クラブでの待機児童はゼロである。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	「帷子キッズクラブ」での夏休み、冬休み、春休みでの運営に関してボランティアと既存の放課後児童クラブ指導員との連携を図った。 児童クラブでの待機児童はゼロである。
A	施策の総括			
	「帷子キッズクラブ」での夏休み、冬休み、春休みでの運営に関してボランティアと既存の放課後児童クラブ指導員との連携を図った。 児童クラブでの待機児童はゼロである。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
児童クラブ待機児童数	定員超過により児童クラブに入室できない児童数(人)	0	0
児童クラブ保育料収納率	児童クラブ保育料の収納割合(%)	99.4	99.7

		担当課	生涯学習課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	あたたかさと厳しさを持つ家庭づくり・地域づくり		
<b>施策名</b>	3 休日・放課後の子どもの居場所づくり		
<b>主な取組の内容</b>	休日の子どもの居場所づくり（ - 3 - (1) ） 現在公民館で行っている地域子ども教室の内容の充実を図ると共に、関係課と連携をとり休日の子どもの居場所づくりを進める。		
<b>主な予算事業名</b>	青少年育成一般経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
休日の子どもの居場所づくり（ - 3 - (1) ） 今渡、下恵土、川合、土田、春里の5公民館において、地域子ども教室を開催し、延べ4,221人の参加を得た。 こども課が所管する放課後児童クラブ新システム構築プロジェクト検討会議に4回出席し、南帷子小キッズクラブの開設に関する協議に参加した。			
			
地域子ども教室の様子			

担当課	生涯学習課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	○公民館主催の事業とユニック事業において、類似の事業を実施している場合があるため、調整が必要である。			
今後の方針	地域子ども教室を、他の公民館講座・教室と一体的に運営する。また、引き続きユニック事業との調整を行う。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>休日の子ども・若者育成支援の居場所作りとして、5公民館において子ども教室を開設した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	休日の子ども・若者育成支援の居場所作りとして、5公民館において子ども教室を開設した。
A	施策の総括			
	休日の子ども・若者育成支援の居場所作りとして、5公民館において子ども教室を開設した。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
地域子ども教室参加者数	地域子ども教室のべ参加者数(人)	3,855	4,221

		担当課	生涯学習課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	あたたかさとしんせきを持つ家庭づくり・地域づくり		
<b>施策名</b>	4 青少年の健全育成		
<b>主な取組の内容</b>	青少年健全育成事業の推進（ - 4 - (1) ） 青少年育成市民会議と少年センターの連携を強化すると共に青少年の健全育成事業を推進する。 少年センター事業の推進（ - 4 - (2) ） 補導活動・不審者情報の発信、地区市民会議やPTAなどと連携した地域ぐるみの見守り体制の連携を強化する。 情報モラル教育の推進（ - 4 - (3) ） 携帯電話の適切な利用に関する保護者への啓発を家庭教育学級、学級委員会などの機会を利用し行う。 成人式の開催（ - 4 - (4) ） 企画運営を含め新成人が主体的に関わる成人式を実施する。		
<b>主な予算事業名</b>	少年センター経費 青少年育成推進費 成人式開催経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
青少年健全育成事業の推進（ - 4 - (1) ） 少年の主張大会、青少年育成シンポジウムを開催し、関係団体から多数の参加があった。 青少年育成推進員と少年センター補導員が連携して合同研修会を開催し、それぞれの活動内容を発表することにより相互理解を図った。 7月と11月に街頭啓発活動を行い、青少年の健全育成・支援を呼びかけた。 少年センター事業の推進（ - 4 - (2) ） 少年センター補導員による巡回補導活動や、不審者情報の発信を行った。 青少年育成推進員とPTAが連携して、夏季合同補導を行った。 情報モラル教育の推進（ - 4 - (3) ） PTA総会を利用して保護者に「ケータイ・ネットに関する家庭のルール指針」を配布した。 携帯電話利用上の注意を盛り込んだ家庭教育啓発パンフレット「家庭の約束9か条」を作成し、小中学生を持つ家庭に配布した。 PTAを通して携帯電話に関する保護者アンケートを実施し、結果をホームページで公開した。 成人式の開催（ - 4 - (4) ） ○新成人14人（うち2年連続の者8人）との次年度新成人5人が企画運営委員会を組織し、催しの内容を企画し、記念品のデザイン編集、式典で上映する映像製作、当日の司会進行等スタッフを担った。製作した映像は、可児市の良いところや親世代のメッセージを若者の視点で描き、新成人代表3人によるスピーチや全員合唱など式典参加者が成人と自覚できる内容の提供ができた。19歳の委員が参加したことにより今回の経験を次回に活かすことができ、委員が成人式の企画運営に携わることで様々な経験を積み、可児市を担うリーダーとしての活躍が期待できる。			

担当課	生涯学習課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針					
課題	○困難を有する子ども・若者への対応など青少年に関する今日的な課題を把握し、青少年健全育成事業を進めるとともに、少年相談事業を充実させる。 ○自身の成人式を終えた有志による運営サポートグループの設立、催し内容や経費削減の検討を行う。				
今後の方針	関係団体と連携して、青少年健全育成事業を実施する。 設置規則及び運営委員構成及び相談体制の見直しを進め、少年センター活動の充実を図る。 ○企画運営を含め新成人が主体的に関わる成人式を実施する。				
評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;"><b>施策の総括</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。</td> </tr> </table>	A	<b>施策の総括</b>		青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。
A	<b>施策の総括</b>				
	青少年育成推進委員会と、少年センター補導員、PTAとの連携により、青少年健全育成事業や合同補導を行った。				

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
青少年育成シンポジウム参加者数	参加者数(人)	439	509
少年の主張大会参加者数	参加者数(人)	471	562
成人式参加率	成人式参加者数 / 新成人数(%)	76.1	74.8
「青少年の健全育成」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.48	
家庭・地域で子どもを見守り育てる施策に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.29

		担当課	生涯学習課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習		
<b>施策名</b>	1 多様な生涯学習機会の提供		
<b>主な取組の内容</b>	公民館の運営（ - 1 - (1) ） 地域及び市民の学習ニーズに応じた公民館講座を開催するとともに、公民館間で講座情報を共有し共同講座を企画するなど連携体制を強化する。 高齢者大学事業の推進（ - 1 - (2) ） 高齢者大学（ 18 ）運営委員会と連絡調整を充分に図り、高齢者ニーズに応じた高齢者大学事業を開催する。 花のまち可児・手づくり絵本事業の推進（ - 1 - (3) ） 効果的なPRイベントを行うとともに、手づくり絵本大賞実行委員会と協働して事業を推進する。		
<b>主な予算事業名</b>	公民館活動経費 高齢者大学講座経費 花のまち可児・手づくり絵本大賞事業		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>公民館の運営（ - 1 - (1) ）</p> <p>○14公民館に公民館事務員24人を配置し、地域のニーズに応じた講座や子どもの居場所づくりなど地域に密着した事業を実施した。（講座開催状況：新規講座142講座・216回、継続講座149講座・742回、共同講座10講座・58回）</p> <p>高齢者大学事業の推進（ - 1 - (2) ）</p> <p>○高齢者大学に864人、高齢者大学大学院（ 19 ）に52人が受講し、学習テーマに基づいて大学講座及び大学院講座をそれぞれ9回開催した。</p> <p>花のまち可児・手づくり絵本事業の推進（ - 1 - (3) ）</p> <p>○実行委員会と連携協働して、次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとなのための製本講座（6月13日・20日、参加者 13人）</li> <li>・夏休み小学生手づくり絵本講座（7月25日・26日、参加者123人）</li> <li>・イベント「絵本作家 宮西達也氏による読み聞かせ」（8月27日、参加者106人）</li> <li>・絵本大賞全応募作品展（全393冊、11月5日～13日、入場者数647人）</li> </ul>			
			
高齢者大学講座		絵本大賞全応募作品展	

担当課	生涯学習課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	○地域の団体と連携協働して、多様な学習機会を提供する。			
今後の方針	市民及び地域のニーズに応じた公民館講座を開催する。 公民館間で講座情報の共有化を図るとともに、公民館講座の開催情報の提供に努める。 関係団体等と連携して、多様な公民館講座・教室を開催する。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>14公民館を拠点として、地域のニーズや特色ある講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。 高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会的能力を高める場を提供した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	14公民館を拠点として、地域のニーズや特色ある講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。 高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会的能力を高める場を提供した。
A	施策の総括			
	14公民館を拠点として、地域のニーズや特色ある講座・教室を開催し、多様な生涯学習の機会を提供した。 高齢者大学や大学院を開設し、高齢者にふさわしい教養と社会的能力を高める場を提供した。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
公民館講座への参加者数	参加者数(人)	114,301	115,764
高齢者大学事業受講者数	受講者数(人)	852	864
花のまち可児・手づくり絵本大賞応募数	応募数(件)	487	393

	担当課	生涯学習課
--	-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
<b>施策名</b>	2 市民の主体的な生涯学習活動の支援
<b>主な取組の内容</b>	生涯学習ボランティアの養成（ - 2 - (1) ） 生涯学習団体と連携して市民主導の生涯学習事業を実施する。
<b>主な予算事業名</b>	生涯学習推進事業

**施策の実施状況、成果**

生涯学習ボランティアの養成（ - 2 - (1) ）  
 ○年10回連続講座の「生き生き創年ゼミ」、視聴覚機器取り扱い講習会、子どもを中心とした良質な映画の上映会、趣味やサークル活動の成果を発表する作品展などを共催や委託事業として実施した。また、今年度から職員出前講座の市民版として意欲ある市民講師の登録とその講師の紹介事業を始めるとともに、市民講師が自ら企画し生涯学習団体が支援する生涯学習講座を開催した。登録講師数25人、実施講座数21講座。



市民講師企画講座「蕎麦打ち」



市民講師企画講座「火打石で火を起こそう」

担当課	生涯学習課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	○生涯学習事業の担い手となる生涯学習団体を育成する。			
今後の方針	生涯学習団体と連携して市民主導の生涯学習事業を実施する。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>講座を自ら企画し、講師を務める市民主導の生涯学習活動を展開した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	講座を自ら企画し、講師を務める市民主導の生涯学習活動を展開した。
A	施策の総括			
	講座を自ら企画し、講師を務める市民主導の生涯学習活動を展開した。			

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
市民講座の開催数	市民が自ら企画し、また講師を務めるといった市民主導の講座の数 (件)	-	21

		担当課	図書館
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習		
<b>施策名</b>	3 図書館の機能充実と読書活動の推進		
<b>主な取組の内容</b>	<p>読書活動の推進（ -3-(1)）                      家庭・地域・学校・ボランティアと連携し、うちどく(家読)10運動（ 24）を継続する。                      移動図書館の運行、バック詰めサービス、団体貸出を継続する。                      ケーブルテレビ等を利用し、読書活動や図書館事業をPRする。</p> <p>図書館サービスの提供（ -3-(2)）                      在館本予約システムを開始するとともに、インターネットサービスを普及させる。                      長期未返却者への対応や相互貸借サービスの運用を見直す。                      郷土資料や特定テーマ（大型本・バラ・ガラス・陶芸）関連図書の充実を図る。</p> <p>図書館ボランティアの活用・養成（ -3-(3)）                      ボランティア講座を実施し、新たなボランティアを養成する。                      読み聞かせやブックトーク（ 25）、図書の配架、イベント等でボランティアと協働する。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	図書館管理運営一般経費 図書館蔵書整備事業 図書システム管理経費 読書推進事業		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>読書活動の推進（ -3-(1)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○4ヶ月健診時に行ったブックスタートである「赤ちゃん絵本事業」（月2回）では、新規登録291名。</li> <li>○本・分館の「かにっ子タイム」（週1回）と「ちびっこかにっ子タイム」（月2回）の参加者は、3,128名。</li> <li>○うちどく10推進講演会をはじめ、各種講座や読書会(延べ9回)の参加者は、335名。</li> <li>○小学校（3回）や幼稚園（5回）、高校（1回）へ司書を派遣し、読み聞かせ等の授業を行った。</li> <li>○移動図書館のステーションを見直し（1増4減）つつ、33ステーションを月1回の割合で巡回した。このうち小学校や児童クラブは14ヶ所である。</li> <li>○学校を対象とした団体貸出によるバック詰めサービスは、13件、546冊であった。</li> <li>○毎月、ケーブルテレビの図書館コーナーにおいて、事業や「うちどく10」運動のPRをした。</li> </ul> <p>図書館サービスの提供（ -3-(2)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「かにっ子だより」に加えて5月から新たに「図書館だより」を毎月発行し、新刊図書等の紹介をした。</li> <li>○本館、分館ともに、館内の展示を毎月企画して衣替えした。</li> <li>○4月から全蔵書に対するネット予約を開始した。窓口を含めて過去最高の36,957件の予約があった。</li> <li>○ウェブサイトから、蔵書検索や利用状況確認、新着本・人気本・パスファインダー（ 26）リスト等の情報提供を継続した。蔵書検索数は245,340件であった。</li> <li>○新たに、職員向けの庁内レファレンスサービスを開始した。</li> <li>○2ヶ月以上の長期未返却者については、返却が済むまで追加の貸出しをしない旨、利用規程を見直した。</li> <li>○返却の延滞者には、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年を締めとして督促状を送付し、電話や訪問も併用した。</li> <li>○新刊本の購入を進め、特定分野としても郷土資料156冊、大活字本17冊、特定テーマ本11冊を収蔵した。</li> <li>○中高生の体験学習として、4回(各3日程度)・11名受け入れた。</li> </ul> <p>図書館ボランティアの活用・養成（ -3-(3)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの本を知るための講座を10回開催し、読み聞かせ等のボランティアの育成を行った。</li> <li>○絵本の読み聞かせや本の整理、赤ちゃん絵本事業における絵本の紹介に対するボランティアの募集と説明会を行ない、8名の新規参加を得た。</li> <li>○「赤ちゃん絵本事業」や「かにっ子タイム」、「ちびっこかにっ子タイム」では、ブックサポーターやボランティアの全面協力をいただいた。</li> <li>○日々の図書配架やリユース事業（4日間）等についても、連携をとり協力を得て実施できた。</li> </ul>			

担当課	図書館
-----	-----

施策の課題及び今後の方針				
課題	<p>○レファレンスサービスの質的な充実を、更に図る必要がある。</p> <p>○図書館活動への理解を深めるため、新たな企画や諸事業を進めるに当たっては、常に多方面との連携を念頭に行っていく必要がある。</p>			
今後の方針	<p>○年度途中から開始したレファレンス事例を今後も蓄積し、内部共有情報として実践に活用していく。既存パスファインダーの改良とともに、将来の公開についても視野に入れておく。</p> <p>○講座や展示、PR活動などにも、各方面との連携を深めていく。</p>			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td> <p>諸事業と情報発信を通して、各方面と連携しつつ「うちどく10」運動を推進することができた。また、新たなサービスの開始や模索も始めることができた。</p> </td> </tr> </table>	A	施策の総括	<p>諸事業と情報発信を通して、各方面と連携しつつ「うちどく10」運動を推進することができた。また、新たなサービスの開始や模索も始めることができた。</p>
A	施策の総括			
	<p>諸事業と情報発信を通して、各方面と連携しつつ「うちどく10」運動を推進することができた。また、新たなサービスの開始や模索も始めることができた。</p>			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
図書館来館者数	市立図書館の来館者数(人)	297,901 (過去最高値)	294,407
図書館貸出冊数	市立図書館・分館における貸出冊数(冊)	530,193 (過去最高値)	524,757
図書館図書予約件数	市立図書館における予約・リクエスト件数(件)	32,455	36,957 (過去最高値)

担当課	教育総務課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
<b>施策名</b>	4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	生涯学習施設の整備（ - 4 - (1) ） 広見公民館の空調改修及び大規模改修工事を実施する。 生涯学習施設（公民館等）の状況を的確に把握し、緊急度優先度を見極め適切な営繕工事を進める。
<b>主な予算事業名</b>	公民館整備事業

**施策の実施状況、成果**

生涯学習施設の整備（ - 4 - (1) ）  
 ○広見公民館の大規模改修工事は10月に完成し、空調改修工事は1月に完成した。  
 建築基準法12条による下恵土公民館外壁補修工事及び帷子公民館外壁補修工事を2月、土田公民館外壁補修工事を3月に完了した。  
 ○各施設からの要望を基に現場を踏査し、緊急度優先度を見極めながら営繕工事を実施した。



広見公民館大規模改修工事完成写真

担当課	教育総務課
-----	-------

**施 策 の 課 題 及 び 今 後 の 方 針**

<b>課 題</b>	築後長年経過している生涯学習施設（公民館等）については、老朽化による大規模改造を計画的に進める必要がある。	
<b>今後の方針</b>	安全・安心な生涯学習施設環境を確保するため、公民館等の施設の状態を的確に把握し、施設の長寿命化を図るとともに、災害時においても避難所として有効に機能できるようにする。	
<b>評 価</b>	<b>A</b>	<p style="text-align: center;"><b>施策の総括</b></p> <p>広見公民館の大規模改修工事及び空調改修工事は計画どおり完了した。 施設の状態を調査し、緊急度優先度を見極めた適切な工事を実施した。</p>

- |  |
|--|
| <p>A 順調に達成<br/>B おおむね順調に達成<br/>C 一部未達成<br/>D 達成していない</p> |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「市公民館」の施設に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度（5点満点換算）	3.84	
「誰もがいつでも学べるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度（5点満点換算）		3.39

担当課	生涯学習課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習
<b>施策名</b>	4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 施設や機械設備の老朽化が進む中、限られた予算を効果的に活用し緊急優先度を配慮しながら営繕工事を進める。
<b>主な予算事業名</b>	公民館管理経費

**施策の実施状況、成果**

生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 公民館の改修工事や補修工事を実施し、施設の安全性と利便性の確保に努めた。 各種保守点検業務や管理業務を委託し、施設の適正管理に努めた。	 <p>下恵土公民館外壁補修工事完成写真</p>
--	--

担当課	生涯学習課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

課 題	○施設の老朽化が進む中、計画的な改修を実施していく必要がある。	
今後の方針	公民館使用に直接影響を受ける空調設備や屋根防水などを中心に改修工事等を行っていくとともに、施設の破損等による危険箇所は、優先的に改修工事を行っていく。	
評 価	A	<p style="text-align: center;"><b>施策の総括</b></p> 空調設備の更新、屋根防水、大規模改修などが必要となっている施設について、計画的な改修工事を実施した。

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「市公民館」の施設に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.84	
「誰もがいつでも学べるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.39

		担当課	図書館
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	市民の意欲と能力を伸ばし、生かす生涯学習		
<b>施策名</b>	4 だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実		
<b>主な取組の内容</b>	生涯学習施設の整備（ - 4 - (1) ）、生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 施設や機械設備の老朽化が進む中、限られた予算を効果的に活用し緊急優先度を配慮しながら営繕工事を進める。 新図書館の整備に向けた検討（ - 4 - (3) ） 新図書館の構想について、調査・研究を進める。 新図書館のあり方について、新たに庁内の懇談会を設けて意見交換を行い、今後の方向性についての案をまとめる。		
<b>主な予算事業名</b>	図書館施設管理経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
生涯学習施設の整備（ - 4 - (1) ）、生涯学習施設の管理（ - 4 - (2) ） 本館と分館の日常的な施設の維持管理や環境整備を行った。 本館の漏水防止や駐車場・外壁タイルの修繕、書架の内容表示の見直しを行った。 安全や利便性向上のため、本館と分館の書架の地震対応策や今後の施設改善内容を提示した。 新図書館の整備に向けた検討（ - 4 - (3) ） ○近年新設された図書館の実情や基本構想について現地視察も含めて調査し、可児市の現状と対比した。 ○新図書館を語る職員懇談会を立ち上げ、高山市への視察を含めて4回開催した。現状の分析と課題の抽出から基本方針までと施設立地に関する構想をまとめ、管理運営等についても意見交換を行った。24年度末を目途として構想原案をまとめていく。			

担当課	図書館
-----	-----

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>書架の地震対策やトイレの改修、駐車可能台数を増やすことなど、利用者の安全と利便性の向上を図る必要がある。          ○引き続き懇談会において意見交換し、新図書館の基本構想(事務局案)を作成していく必要がある。</p>
------------	---

<b>今後の方針</b>	<p>本館と分館の開架書架について、転倒防止工事を行う。          本館のトイレの洋式化と新たな駐車場確保を行う。          新図書館整備に向けた基本構想の事務局原案は、24年度末を目途としてまとめしていく。</p>
--------------	--

<b>評 価</b>	<b>B</b>	<b>施策の総括</b>
	<p>予算内において、改善可能なことから修繕を実施した。書架の地震対策やトイレの改修、駐車場の確保については、新年度の予算対応とした。          新図書館の基本構想案については、新年度を見越すとおおむね順調である。</p>	

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成<br/>         B おおむね順調に達成<br/>         C 一部未達成<br/>         D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「市立図書館」の施設に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.46	
「誰もがいつでも学べるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.39

		担当課	スポーツ振興課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
<b>施策名</b>	1 スポーツに親しみ、楽しむ機会の提供		
<b>主な取組の内容</b>	<p>スポーツ行事・教室の開催（ - 1 - (1) ）                      ミニテニス体験会を開催するなどし、認知度を高めるとともに、UNIC（ 20 ）にミニテニス教室を開設し、定期的な活動を行っていけるようにする。                      競技者の交流やモチベーションを高めるため、交流大会の開催についても視野に入れ、普及を図っていく。</p> <p>総合型地域スポーツ・文化クラブ（UNIC）の充実（ - 1 - (2) ）                      UNICの課題（自主的運営・公民館事業との重複調整）の解決について、各UNIC代表者との協議をする。                      庁内の関係課と課題解決のための協議を行う。</p> <p>B &amp; G財団関連事業の充実（ - 1 - (4) ）                      指導者会事業を含めた各種事業の中に、「水の安全教室」を導入し、充実を図る。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	スポーツ推進委員活動経費 生涯スポーツ推進事業 総合型地域スポーツ・文化クラブ推進事業		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>スポーツ行事・教室の開催（ - 1 - (1) ）                      スポーツ推進委員定例会終了後にミニテニス競技の進め方や審判講習会を開催し、ルールの習得を行なった。</p> <p>中部UNICでミニテニス体験会を開催した。                      10月30日にミニテニス交流会を開催し、29名の参加があった。                      スポーツ推進委員などを中心に、気軽に参加できる軽スポーツや行事を次のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月29日・6月5日かに6市民大会（ソフトバレー）参加者62チーム・496人</li> <li>・ 7月18日子ども会育成協議会に対してラジオ体操指導（約300人参加）</li> <li>・ 9月25日グラウンドゴルフ大会 参加者402人</li> <li>・ 10月16日ウォーキング（健康フェアに協賛）参加者81人</li> <li>・ 1月1日元旦登山 参加者912人</li> <li>・ 3月18日生涯スポーツ交流会（ソフトバレー）参加者45チーム・365人</li> </ul> <p>各地区の健友会と連携し、体力測定を10回実施し、高齢者の健康意識の高揚を図った。                      生涯学習出前講座として、軽スポーツ講習を10回（338人参加）行った。</p> <p>総合型地域スポーツ・文化クラブ（UNIC）の充実（ - 1 - (2) ）                      行政評価懇談会から公民館事業との関係、UNICの自立についてなどの意見を受け、各UNICの代表者とその共通認識を図るための協議を行った。                      県内の先進クラブの視察を行い、運営方法などを調査し、本市における今後のクラブ運営の参考とした。                      各クラブの会長で組織するUNIC協議会を6回開催し、今後のクラブ運営のための方向性を協議した。</p> <p>B &amp; G財団関連事業の充実（ - 1 - (4) ）                      各小学校に「水の安全教室」参加募集を行ない、兼山小学校、今渡北小学校及び広見小学校において、合計5時間・285人に実技指導を行なうことができた。                      Eボート体験教室（2回・のべ26人）、カヌー・マリンスポーツ体験教室（1回・23人）において、紙芝居などを用いて、水の事故0運動啓発活動を行なった。                      施設の利用実績において、全国480ヶか所の施設の中で、体育館が5位、プールが15位であった。</p>			

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	生涯スポーツ推進のため、交流大会の運営方法、ニーズなどを検討し、多くの市民に参加していただけるよう検討する必要がある。 UNICの自主運営の実現について、各UNICのコンセンサスを得て支援を続けていく必要がある。
------------	---

<b>今後の方針</b>	「一市民スポーツ」の普及をする。 UNIC自主運営のための支援をする。 B & G事業の推進を図っていく。
--------------	---

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
		年間を通じて予定していたスポーツ行事を計画的に実施することができ生涯スポーツの推進を図ることができた。 B & G財団関連事業において、活動内容、施設の利用実績などを総合的に評価され、最高ランク（特A）の表彰を受けた。

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
シティマラソン参加者数	参加者数(人)	1,978	2,471
UNIC登録者数	各UNIC及び蘭丸の里スポーツクラブの登録者数(人)	2,578	2,618
市民運動場(5ヶ所)利用者数	延べ利用人数(人)	104,572	119,039
成人が週に1回以上スポーツを行う割合	市民満足度調査から20歳以上の者で集計(%)		27.2

		担当課	スポーツ振興課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
<b>施策名</b>	2 スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上		
<b>主な取組の内容</b>	<p>指導者及び選手の育成（ - 2 - (3) ）                      （財）可児市体育連盟が参加する、岐阜県民スポーツ大会での順位目標を確認し、各種目団体を支援する。                      大会参加種目が増加するよう、優秀選手確保・育成などについて協力・情報提供していく。                      全国大会等に出場する競技者等に対するモチベーションの向上のため、激励金を支給するとともに、市長からの激励と市民への情報発信をしていく。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	体育連盟経費 体育大会等経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>指導者及び選手の育成（ - 2 - (3) ）                      県民スポーツ大会へ24団体延べ343人を派遣した。                      県民スポーツ大会で21市中、総合6位に入賞した。                      国体強化選手を市機関紙に掲載し、活躍している選手のPRを行った。                      各種競技団体の大会や教室運営などを支援し、競技団体の支援・育成を図った。                      近隣自治体の激励金支給額を参考に改正（成人1万円を5千円に）し運用を開始した。                      4月1日号広報紙で激励金制度の周知を図った。                      全国大会等へ出場する競技者等へ126件の激励金を支給するとともに、希望者には市長激励会を開催し、市民への情報発信（新聞掲載等）を行った。</p>			

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施策の課題及び今後の方針				
課題	(財)可児市体育連盟の公益財団法人化の推進をする。 坂戸市民テニス場開設を契機に、テニス教室を開催するなど競技人口の拡大や強化を効率的に行う。 坂戸市民テニス場のオープニングイベントの実施に向けての準備を進める。			
今後の方針	(財)可児市体育連盟の支援をする。 全国大会等出場者への支援をする。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>施策の総括</td> </tr> <tr> <td>県民スポーツ大会では総合6位に入賞し、一定の成果を収めることができた。 全国大会等に出場する優秀選手への奨励策(奨励金、奨励会、情報発信)を実施しモチベーション向上に寄与することができた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	県民スポーツ大会では総合6位に入賞し、一定の成果を収めることができた。 全国大会等に出場する優秀選手への奨励策(奨励金、奨励会、情報発信)を実施しモチベーション向上に寄与することができた。
A	施策の総括			
	県民スポーツ大会では総合6位に入賞し、一定の成果を収めることができた。 全国大会等に出場する優秀選手への奨励策(奨励金、奨励会、情報発信)を実施しモチベーション向上に寄与することができた。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
体育連盟加盟人数	加盟人数(人)	3,053	2,993
全国大会出場件数	出場件数(件)	148	126
スポーツ少年団登録者数	登録人数(人)	1,162	1,121
スポーツ少年団指導者数	指導者登録人数(人)	307	306

		担当課	国体推進室
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動		
<b>施策名</b>	2 スポーツに取り組む人材の育成と技術の向上		
<b>主な取組の内容</b>	<p>正式種目である女子ゴルフの円滑な実施                      愛岐カントリークラブと連携して、コース確認、駐車場及び会議室のレイアウトを確認する。                      県ゴルフ連盟と協議して、適切な役員配置計画を作成する。                      中央競技団体の指摘事項を再確認して、不備の無いように努める。</p> <p>デモスポ（ 22）行事の普及及び円滑な実施                      可茂地区スポレク祭のグラウンド・ゴルフ大会をリハーサル大会と位置付け、市スポーツ推進委員会及び市グラウンド・ゴルフ協会と連携して、コース、役員等確認して開催する。                      今年度から3B体操（ 22）の会場である花フェスタ記念公園が指定管理者制度を導入するので、選定された事業者と借用について、協議を進める。</p> <p>ミナモ運動（ 23）の推進                      可児ローズソサイエティと連携して、バラ（かに乙女）の買い増し及び育成に努める。                      花いっぱい運動と連携して、花飾りを推進する。                      ミナモダンスや体操を市民に広めるように努力する。                      関連種目の教室を実施するなど、国体開催後にも実を結ぶ事業の展開を図る。</p>		
<b>主な予算事業名</b>	ぎふ清流国体競技開催事業		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>正式種目である女子ゴルフの円滑な実施                      ○6月8日に設計業務の委託契約を済ませ、愛岐カントリークラブ、県ゴルフ連盟と協議、調整し11月に会場レイアウトを確定して1月に図面等納品を完了した。                      ○県ゴルフ連盟と連携して役員編成を行い、競技役員に協力を依頼した。                      ○11月14日に中央競技団体（JGA）の二次視察を実施し、追加された指摘事項について愛岐カントリークラブ及び県と協議をして対応した。一次視察の指摘事項も確認、承認された。</p> <p>デモスポ行事の普及及び円滑な実施                      ○6月3日に花フェスタ記念公園と協議して協力を依頼した。12月7日に入場料について協議を行い、平成24年度の料金体系が確定した2月に決定した。                      ○9月25日に可茂地区グラウンド・ゴルフ大会を市スポーツ推進委員会及び市グラウンド・ゴルフ協会と連携して開催した。国体同様4コース64ホールで実施し、会場レイアウトを図面化して国体開催に備えた。</p> <p>ミナモ運動の推進                      ○5月に実施された花いっぱい運動ではミナモの着ぐるみを利用した啓発を実施した。6月28日に維持管理課と連携して、デモスポ会場付近である羽崎の交差点近くの花壇に県から供給された花（1,080株）の植え込みを実施した。                      ○10月12日に可児市長杯ゴルフ大会を「ぎふ清流国体可児市1年前イベント」として実施した。大会には196人の参加で実施し、大会終了後には可児工業高校作製（協力：可児ライオンズクラブ）のカウントダウンボードの除幕式や山口国体出場選手の報告会を実施した。                      ○12月7日に今年度買い増しした60株と以前からの95株のバラを、可児ローズソサイエティと連携して植え替えを実施した。                      ○ミナモ運動の一つである「ふるさとの清流を守ろう」として、12月3日に商工会議所青年部と連携して可児川清掃を実施した。また、2月18日に環境フェスタイベントと連携し可児川一斉清掃を実施した。                      ○1月28日に3B体操の普及を図るため、かたびら保育園で親子3B体操教室を実施した。</p>			

担当課	国体推進室
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	デモスポ行事の認知及び普及率が低いため、普及に向けて事業の推進が必要である。 10月に体制を整備(職員の増員等)することができたが、市民ボランティアや協賛制度について、今後一層の啓発を図る必要がある。			
今後の方針	幼稚園・小学校での普及のための各種目の教室を企画するとともに、一般向けの教室も随時実施していく。 ボランティア参加や協賛については、個別の団体にも依頼をかけるなど、様々な形で市民へアピールし、開催に向けての気運をさらに高めていく。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>平成23年度中に行うべき準備計画を全て実施することができた。また、1年前イベントなどを通じて、気運の盛り上げを行うとともに、様々な機会での啓発活動を通じて、国体開催についての市民への周知を図ることが出来た。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	平成23年度中に行うべき準備計画を全て実施することができた。また、1年前イベントなどを通じて、気運の盛り上げを行うとともに、様々な機会での啓発活動を通じて、国体開催についての市民への周知を図ることが出来た。
A	施策の総括			
	平成23年度中に行うべき準備計画を全て実施することができた。また、1年前イベントなどを通じて、気運の盛り上げを行うとともに、様々な機会での啓発活動を通じて、国体開催についての市民への周知を図ることが出来た。			

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|



保育園での啓発活動



1年前イベントの様子

担当課	教育総務課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動
<b>施策名</b>	3 気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ） スポーツ施設の状況を的確に把握し、緊急度優先度を見極め適切な営繕工事を進める。
<b>主な予算事業名</b>	体育施設管理経費

**施策の実施状況、成果**

スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ）  
耐震強度の無い可児市市民センターの取り壊し工事を6月までに完了した。  
○海洋センター体育館の耐震診断を実施した。診断結果は、「耐震補強必要なし」であった。



市民センター取り壊し後の状況

担当課	教育総務課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	築後長年経過しているスポーツ施設については、老朽化による大規模改造を計画的に進める必要がある。			
今後の方針	安全・安心なスポーツ施設環境を確保するため、スポーツ施設の状況を的確に把握し、施設の長寿命化を図るとともに、災害時においても避難所として有効に機能できるようにする。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>市民センター解体工事は計画どおり完了した。 施設の状況を調査し、緊急度優先度を見極めた適切な工事を実施した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	市民センター解体工事は計画どおり完了した。 施設の状況を調査し、緊急度優先度を見極めた適切な工事を実施した。
A	施策の総括			
	市民センター解体工事は計画どおり完了した。 施設の状況を調査し、緊急度優先度を見極めた適切な工事を実施した。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「体育館やプールなどスポーツ施設の整備」に対する市民の満足度	市民意識調査での満足度(5点満点換算)	2.73 (H20)	
「誰もがいつでもスポーツに親しめるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.37

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	健康、生きがい、人とのつながりをつくるスポーツ活動
<b>施策名</b>	3 気軽に利用できるスポーツ施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	<p>スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ）、スポーツ施設の管理（ - 3 - (2) ）                  可児市体育施設総合整備計画（ 21 ）について、既に現実と不整合のものなどを見直し、修正する。                  新市民テニスコートの運用がスムーズに行われるよう、テニスコートの管理運用手法について研究し、平成24年度に生かせるよう準備する。</p>
<b>主な予算事業名</b>	<p>夜間照明施設開放事業                  学校開放事業                  体育施設管理経費                  体育施設整備事業</p>

**施策の実施状況、成果**

スポーツ施設の整備（ - 3 - (1) ）  
 体育施設の整備計画について、直接市民の意見をうかがいたいと調査を予定していたが、市全体の事業計画の中で検討していくこととした。  
 近隣市町村のテニスコートの使用料や運営形態について調査し、本市における使用料や開放時間の見直しを行った。

スポーツ施設の管理（ - 3 - (2) ）  
 多くの市民に体育施設を使用していただけるよう 予約システムの管理、使用料の徴収、施設や器具の維持管理などを年間を通じて行うことができた。また学校体育施設の開放については、均一なサービスの提供を図るため、各地区の調整会議の委員との会議の場を持ち、問題点などの把握を行った。



坂戸市民テニスコート工事写真

担当課	スポーツ振興課
-----	---------

施策の課題及び今後の方針				
課題	平成24年度の坂戸市民テニスコートの開設をスムーズに行う。 総合運動公園の整備完了後の管理体制についての検討が必要である。			
今後の方針	テニスコート開場に伴う事務を進める。 野球場（平成26年度供用開始予定）の仕様を協議する。 体育施設管理に伴う研究を進める。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>平成24年度に開場する坂戸市民テニスコートについて、近隣市町村のテニスコート使用料などを調査し、当課の意見をまとめることができた。また、利用時間等についても市民の利便性の向上を図るための改正案を作成した。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	平成24年度に開場する坂戸市民テニスコートについて、近隣市町村のテニスコート使用料などを調査し、当課の意見をまとめることができた。また、利用時間等についても市民の利便性の向上を図るための改正案を作成した。
A	施策の総括			
	平成24年度に開場する坂戸市民テニスコートについて、近隣市町村のテニスコート使用料などを調査し、当課の意見をまとめることができた。また、利用時間等についても市民の利便性の向上を図るための改正案を作成した。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「体育館やプールなどスポーツ施設の整備」に対する市民の満足度	市民意識調査での満足度（5点満点換算）	2.73 (H20)	
「誰もがいつでもスポーツに親しめるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度（5点満点換算）		3.37

		担当課	文化振興課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承		
<b>施策名</b>	1 文化・芸術に親しむ機会の提供		
<b>主な取組の内容</b>	文化創造センターにおける鑑賞事業の充実（V-1-(1)） 文化創造センターの指定管理者である（公財）可児市文化芸術振興財団に施設の管理運営を委託し、各種文化芸術鑑賞事業を促進する。		
<b>主な予算事業名</b>	文化芸術振興経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p>文化創造センターにおける鑑賞事業の充実（V-1-(1)）</p> <p>本年度より5年間、指定管理者として再指定をした。また公益法人制度改革に対しては、より公共性の高い「公益財団法人」を選択し、運営管理計画にある基本方針「文化芸術の中核拠点づくり」「人と情報の交流拠点づくり」「文化を活かしたまちづくり」に取り組んだ。 （利用者322,418人、施設全体の平均稼働率89.3%）</p> <p>「文学座」及び「新日本フィル」との地域拠点契約の継続により、引き続き質の高い鑑賞の機会を創出することができた。また両団体の協力により、市内の福祉施設や病院、地区公民館などに出向いて芸術に触れていただく活動を展開した。</p>			
			
平幹二朗主演「エレジー」		新日本フィル アウトリーチ	

担当課	文化振興課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	指定管理者の下、市民に文化・芸術に触れていただく機会の提供はもとより、運営・経営面においても市民の満足度を一層高める。
------------	---

<b>今後の方針</b>	優れた文化・芸術を提供するとともに、市民参画を得て文化創造センターの利用促進を図る。 事業内容や実施方法を逐次点検し、より多くの市民が幅広い分野の文化・芸術に親しむことができるように施設運営を管理していく。
--------------	--

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
	当施策については、拠点となる文化創造センターにおいて、質の高い文化芸術作品の鑑賞事業を始めとして市民の文化芸術創造に資する各種事業を実施した。施設の利用者数や稼働率も高い数値を維持しており、公共文化施設としての成果を挙げた。	

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
文化創造センターの利用者数	利用者数(人)	273,331	322,418
文化創造センター劇場の稼働率	文化創造センターの主劇場及び小劇場の稼働率(%)	67.8	72.3
「文化・芸術活動の充実」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.25	
「歴史や文化・芸術に親しめるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.26

担当課	郷土歴史館
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
<b>施策名</b>	1 文化・芸術に親しむ機会の提供
<b>主な取組の内容</b>	郷土歴史館などの運営（V-1-(3)） 郷土歴史館、兼山歴史民俗資料館において企画展を実施する。 陶芸苑での陶芸教室活動の推進（V-1-(4)） 陶芸苑にて陶芸教室を実施する。 小学校と連携し、陶芸に親しむ機会を創出する。
<b>主な予算事業名</b>	郷土館運営経費 郷土館管理経費 陶芸苑一般経費 兼山歴史民俗資料館経費

**施策の実施状況、成果**

郷土歴史館などの運営（V-1-(3)）  
特別展「化石から見た可児」（7月26日～9月11日）、企画展「可児の災害」（9月13日～10月2日）、「まるわかり金山城」（10月4日～11月20日）、「大森奥山の山論」（2月7日～4月8日）を開催した。また、展示会に合わせて講演会を2回開催した。

陶芸苑での陶芸教室活動の推進（V-1-(4)）  
陶芸苑事業では、陶芸サークルをはじめ公民館講座等の作陶を指導した。  
陶芸教室では「手作りの美濃焼講座」（3期8コース、参加者計122名）及び「陶かぶとづくり」（2コース、参加者計19名）を実施した。  
夏休み親子陶芸教室（茶碗・お皿等の製作）を開催した。28組の親子が参加した。  
東明小学校の体験学習で6年生の作陶を陶芸苑で実施した。  
小学校12校の3、4年生に対し、昔の生活の学習を職員が学校に出向いて行った。



特別展 化石から見た可児



夏休み親子陶芸教室の茶会

担当課	郷土歴史館
-----	-------

施策の課題及び今後の方針				
課題	郷土歴史館、兼山歴史民俗資料館、川合考古資料館の入館者の増加を図る。 郷土の歴史に興味を持ってもらえるような魅力ある郷土歴史館の運営が必要である。 小中学校との連携を図った事業の展開が必要である。			
今後の方針	「身近な歴史」を再発見できるような展示、講座などを開催する。また、可児の誇れる陶芸文化を全国に発信する展示会を企画していく。 陶芸苑を通じて、市民への陶芸文化の拡大をはかる。			
評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td style="text-align: center;">施策の総括</td> </tr> <tr> <td>企画展、特別展を4回開催したことによって入館者も増え、可児の歴史を紹介することができた。 小学校の体験学習など、学校との連携事業を進めることができた。</td> </tr> </table>	A	施策の総括	企画展、特別展を4回開催したことによって入館者も増え、可児の歴史を紹介することができた。 小学校の体験学習など、学校との連携事業を進めることができた。
A	施策の総括			
	企画展、特別展を4回開催したことによって入館者も増え、可児の歴史を紹介することができた。 小学校の体験学習など、学校との連携事業を進めることができた。			

A 順調に達成
B おおむね順調に達成
C 一部未達成
D 達成していない

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
可児郷土歴史館	入館者数(人)	2,471	3,533
兼山歴史民俗資料館	入館者数(人)	1,563	1,567
川合考古資料館	入館者数(人)	2,099	1,757

		担当課	文化振興課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承		
<b>施策名</b>	2 市民の主体的な文化・芸術活動の支援		
<b>主な取組の内容</b>	文化創造センターにおける市民参加事業の促進（V-2-(1)） （公財）可児市文化芸術振興財団への委託により、多くの市民参加を得た舞台作品の制作を行う。 美術展・文芸祭・音楽祭を実施する。 文化・芸術団体活動の支援（V-2-(2)） 可児市文化協会などの文化芸術団体の活動を支援する。		
<b>主な予算事業名</b>	文化振興一般経費 文化芸術振興経費		
<b>施策の実施状況、成果</b>			
文化創造センターにおける市民参加事業の促進（V-2-(1)） （財）自治総合センターの「地域の芸術環境づくり助成事業」として、可児市民約 100名が出演する「市民ミュージカル『君といた夏』～スタンドバイミー可児～」を制作・上演した（3月10、11日）。 （公財）可児市文化芸術振興財団が制作する演劇「アーラコレクションシリーズ」第4弾として「エレジー」を制作、市民サポーターの支援を受けながら、アーラで8公演、その後各地で18公演を行った。 美術展 11月9日（水）～13日（日）開催、最終日に表彰式、 出品点数：6部門 289点、来場者：1,648人 文芸祭 12月1日（木）～4日（日）開催、最終日に表彰式、 出品点数：（一般）8部門 1,470点、（小中学生）3部門 2,352点、来場者：200人 音楽祭 7月3日（日）開催、出演10団体、来場者：905人 文化・芸術団体活動の支援（V-2-(2)） 市文化協会が行っている各種文化芸術事業（絵画・写真・書道・和装・工芸・文芸・邦楽・洋楽）を支援し、活動の啓発・伝統芸術の継承・新しい文化の創造を図った。 市少年少女合唱団及び可児交響楽団の活動を支援し、音楽活動を通じた青少年の情操教育やクラシック音楽への関心を高めた。			
市民ミュージカル 練習風景			

担当課	文化振興課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	多様な文化・芸術活動に多くの市民が主体的に取り組むことができる環境をつくる。
------------	--

<b>今後の方針</b>	市民の主体的な文化芸術活動を支援し、市民文化の創造と交流を促進する。
--------------	------------------------------------

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
		(公財)可児市文化芸術振興財団の自主事業において、大規模な市民参加事業を実施した。また、文化協会など地元の文化・芸術団体に対して財政支援や成果発表の補助を行い、地域文化の振興を図った。

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「文化創造センターは市民の文化芸術の創造・発表活動の機会を創出している」と回答した市民の割合	市民意識調査で「そう思う」と回答した割合(%)	67.7 (H20)	

		担当課	文化振興課
<b>平成23年度の重点</b>			
<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承		
<b>施策名</b>	3 文化財の保護と歴史の継承		
<b>主な取組の内容</b>	指定文化財の保存管理（V-3-(1)） 地元諸団体と連携し、文化財の保護、環境整備を図る。 サクライソウ、ミカワバイケイソウなどの自生地の生育調査を実施する。 指定文化財の整備活用（V-3-(2)） 金山城跡調査成果をまとめるとともに、その内容や価値について市民への周知を図る。 金山城に関する文献調査を実施する。 文化財を市民により身近に感じていただくよう、内容紹介やPRを進める。 埋蔵文化財の発掘調査及び保存（V-3-(3)） 開発に伴う緊急の試掘・発掘調査に対応し、記録保存を実施する。 伝統文化の保存と伝承（V-3-(4)） 宮太鼓など伝統文化の活動を支援し、その継承とPRを図る。		
<b>主な予算事業名</b>	文化財保護一般経費 指定文化財整備事業 緊急発掘調査事業 金山城跡調査事業	 <p style="text-align: center;">金山城跡 石垣</p>	
<b>施策の実施状況、成果</b>			
<p><b>指定文化財の保存管理（V-3-(1)）</b>                      132件の指定文化財のうち21件について、地元自治会等に清掃等管理を委託し、文化財愛護意識の向上を図った。                      文化財建造物等の警備（6ヶ所）、史跡名勝の除草剪定業務（5ヶ所）を専門業者に委託した。                      サクライソウ（2回）、シデコブシ（5回）、ミカワバイケイソウ（2回）の自生地調査を実施するとともに、専門家と連携しその保護活動を行った。</p> <p><b>指定文化財の整備活用（V-3-(2)）</b>                      金山城跡は、兼山町との合併後の平成18年から現地調査を重ね、昨年度で5次調査が終了した。当時の石垣や建造物の礎石を確認し、多くの遺物を発掘した。来年度に国指定史跡申請ができるよう、本年度は調査報告書の作成や指定範囲内の調整等を行った。                      可児郷土歴史館において企画展「まるわかり金山城」を開催（10月4日～11月20日）。期間中には講演会・説明会を実施（11月3日）。また名鉄広見線活性化協議会・蘭丸振興会・蘭丸プロジェクトや市総合政策課・健康増進課と連携して、ウォーキングイベント「兼山歴史ウォーク2012」を開催した（3月18日）。                      調査の遺物整理や金山城に関する文献調査を進めた。また調査指導委員会を2回（8月、1月）開催するとともに、文化庁の文化財調査官が現地を踏査（10月）し、今後の調査方法等について指導助言をいただいた。                      可児市の文化財第12集として指定文化財を収録・解説した「可児市の文化財ガイドブック」を発刊した。                      「広報かに」において、古墳を紹介・解説するシリーズを掲載した（大森皿屋敷、羽崎中洞、川合次郎兵衛塚、前波三ツ塚）。</p> <p><b>埋蔵文化財の発掘調査及び保存（V-3-(3)）</b>                      開発に伴う立会・緊急発掘調査 2件と関連整理作業を実施した。                      山神古墳、桐野1号古墳（中恵土）                      埋蔵文化財の有無照会（約350件）に対応した。</p> <p><b>伝統文化の保存と伝承（V-3-(4)）</b>                      宮太鼓・流鏝馬祭り等、伝統文化の継承、後継者の育成の支援を行った。                      宮太鼓の発表・PRの場として、宮太鼓演奏会を花フェスタ記念公園で開催した（11月20日）。                      土田白鬚神社流鏝馬祭の用具補修に対し、助成を行った。</p>			

担当課	文化振興課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

課 題	市民が文化財をより身近に感じるよう、内容紹介やPRを継続する。 金山城跡の国指定史跡申請を進める一方、地域住民をはじめとする市民へ史跡の内容や価値について周知を図っていく必要がある。	
今後の方針	文化財の保護・伝承と活用を図るため、保存管理や環境整備、調査、啓発等を進める。 金山城跡の発掘調査結果等をまとめて、国指定史跡申請を行う。	
評 価	A	<p align="center"><b>施策の総括</b></p> <p>指定文化財の保存管理と環境整備を行うとともに、講座や見学会の実施及び書籍の刊行などにより文化財保護意識の向上を図った。また、県指定文化財である金山城跡については、国指定史跡申請に向け順調に事務を進めている。</p>

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
指定文化財の件数	国・県・市指定の文化財件数(件)	132	132
「文化財等の保護、保存」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.17	
「地域の伝統・文化の保護や継承」に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.11	
「文化財等の保護、保存」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.15
「地域の伝統・文化の保護や継承」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.09

担当課	郷土歴史館
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
<b>施策名</b>	3 文化財の保護と歴史の継承
<b>主な取組の内容</b>	文化・歴史の調査、研究とその実施体制の整備（V-3-(5)） 市内各地に残る郷土・歴史資料の収集調査を実施する。 所蔵資料の保存と活用（V-3-(6)） 市史編纂事業により収集した資料を保存活用する。 市民歴史講座を開催する。
<b>主な予算事業名</b>	郷土館運営経費 郷土館管理経費 陶芸苑一般経費 資料調査保存事業

**施策の実施状況、成果**

文化・歴史の調査、研究とその実施体制の整備（V-3-(5)）  
兼山町役場資料3,984点を調査・整理し目録を作成した。また、寄贈21件、寄託4件を郷土館で受け入れた。

所蔵資料の保存と活用（V-3-(6)）  
今八幡神社祭礼記の調査報告書を刊行した。（A4判 63頁 300部印刷）  
収集した昔の写真7,000枚をデジタル化した。また、保存する資料で収蔵資料展「大森奥山の山論」を開催した。  
歴史館講座「明治初期の山論と裁判～村の命運をかけた戦い～」、「土岐久々利氏の動向」、「千村平右衛門家と在所久々利」を2月と3月に開催した。



歴史館講座



大森奥山の山論展

担当課	郷土歴史館
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	家の建替え等で散逸のおそれのある歴史資料を調査・収集する必要がある。文書資料や発掘調査資料などの収蔵施設が不足しており、充実を図っていく必要がある。 兼山地区の個人所蔵資料の調査をしていく必要がある。
------------	---

<b>今後の方針</b>	古文書等の歴史資料の所在確認と調査を継続して実施する。また、調査資料、収集資料を活用した歴史講座などを開いていく。
--------------	---

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
		兼山町役場資料の資料整理と目録作成、今八幡神社祭礼記の調査報告書の刊行、収蔵写真のデジタル化を実施することができた。 収集資料を活用した資料展の開催や歴史講座3回を開催することができた。

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度

担当課	教育総務課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	文化・芸術の創造と歴史の継承
<b>施策名</b>	4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	文化・歴史施設の整備（ - 4 - (1) ） 歴史館・資料館等の施設の状況を的確に把握し、緊急度優先度を見極め適切な営繕工事を進める。 兼山歴史民俗資料館（明治18年竣工）の耐震診断を実施する。
<b>主な予算事業名</b>	兼山歴史民俗資料館管理経費

**施策の実施状況、成果**

文化・歴史施設の整備（ - 4 - (1) ）  
 ○兼山歴史民俗資料館は、平成5年度に大規模改修工事を実施しているが、木造3階という特殊な建物であるので、安全性確認のため耐震診断を行った。その結果、震度6～7の地震に対して倒壊する可能性が高いという耐震診断となった。



兼山歴史民俗資料館正面



兼山歴史民俗資料館裏側

担当課	教育総務課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>築後長年経過している歴史館・資料館等の施設については、老朽化による大規模改造を計画的に進める必要がある。</p> <p>耐震診断で耐震性が低いと判断された兼山歴史民俗資料館については、その歴史的価値を再検証するとともに、歴史的建造物という価値を維持できるような耐震性強化の手法を検討する必要がある。</p>
------------	--

<b>今後の方針</b>	<p>安全・安心な施設環境を確保するため、歴史館・資料館等の施設の状況を的確に把握し、施設の長寿命化を図る。</p> <p>歴史的建造物の耐震性強化について、国の対策動向を調査するとともに、その手法の検討を進める。</p>
--------------	---

<b>評 価</b>	<b>A</b>	<b>施策の総括</b>
	兼山歴史民俗資料館の耐震診断を実施した。	

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

<b>参 考 指 標</b>			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「郷土歴史館」の施設に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.55	
「歴史や文化・芸術に親しめるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.26

担当課	文化振興課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
<b>施策名</b>	4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）、文化・歴史施設の管理（V-4-(2)） （公財）可児市文化芸術振興財団のモニタリングを毎月実施し、適切な管理を実施する。 使用頻度の高い文化創造センターの劇場設備について、改修や交換を実施する。
<b>主な予算事業名</b>	文化創造センター維持経費

**施策の実施状況、成果**

文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）、文化・歴史施設の管理（V-4-(2)）  
（公財）可児市文化芸術振興財団との基本協定に基づき毎月モニタリングを実施するとともに、定期報告書の提出を受け、事業の進捗状況や財務状況を把握した。  
年度計画や予算配分に沿って、改修や交換を順次行った。  
舞台用潤滑油交換、舞台調光設備修繕、Co2濃度計交換、空調制御施設改修、中水道設備改修、トイレセンサー設置、天井配管改修 等



舞台用潤滑油交換工事



舞台調光設備修繕工事

担当課	文化振興課
-----	-------

施策の課題及び今後の方針			
課題	文化創造センターは平成14年の開館以来9年間が経過し、経年による施設の老朽化が進行している。計画的な改修や交換を進めているが、予期しない緊急の施設修繕や機器の故障への対応が求められる場合が生じる。		
今後の方針	稼働率が高く損耗が激しい劇場内設備等について、文化創造センターの運営に支障のないよう計画的に改修や交換を進める。		
評価	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50px; height: 100px;">A</td> <td style="text-align: center; width: 100px;">施策の総括</td> </tr> </table> 経年による施設の老朽化が進むなか、中期的な計画を立て、耐用年数や優先度をもとに営繕工事を実施した。	A	施策の総括
A	施策の総括		

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度

担当課	郷土歴史館
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	V 文化・芸術の創造と歴史の継承
<b>施策名</b>	4 文化・歴史に親しめる施設環境の整備・充実
<b>主な取組の内容</b>	文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）、文化・歴史施設の管理（V-4-(2)） 郷土歴史館、兼山歴史民俗資料館、川合考古資料館及び陶芸苑の適正な管理・運営を行う。
<b>主な予算事業名</b>	郷土館運営経費 郷土館管理経費 陶芸苑一般経費 兼山歴史民俗資料館経費

**施策の実施状況、成果**

文化・歴史施設の整備（V-4-(1)）、文化・歴史施設の管理（V-4-(2)）  
郷土館展示室展示台クロスの張り替え及び郷土館事務室の電話機の更新を行った。  
歴史的な価値のある兼山歴史民俗資料館（明治18年建築の木造3階建て、旧兼山小学校）の耐震診断を実施し、震度6～7の地震で倒壊する可能性の高い建物と診断された。  
収蔵庫及び文化財収蔵庫の整理を行い、ガラス陳列棚等不燃物の廃棄処分を行った。



分館 民俗資料館



陶芸苑 ロクロ

担当課	郷土歴史館
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>耐震診断の結果、耐震性が低いとされた兼山歴史民俗資料館については、歴史的価値の再評価とその価値を損なわない方法での安全対策、耐震性強化策を講じる必要がある。</p> <p>昭和48年開館の郷土歴史館は老朽化・陳腐化が著しく、また、分館の民俗資料館はワラ屋根等の傷みが激しいなど維持管理が困難な状況である。</p>
------------	---

<b>今後の方針</b>	<p>兼山歴史民俗資料館については、入館者の安全に万全を期しながら、耐震強化策を検討していく。</p> <p>老朽化した展示施設や収蔵庫不足解消のため、施策全体の中で郷土歴史館の改修・整備を計画していく。</p>
--------------	--

<b>評 価</b>	A	<p><b>施策の総括</b></p> <p>雨漏りなど施設の老朽化が問題となっているが、適正な施設管理を行い、日常的な保守管理を順調に実施することができた。</p>
------------	---	---

- |   |
|---|
| <p>A 順調に達成</p> <p>B おおむね順調に達成</p> <p>C 一部未達成</p> <p>D 達成していない</p> |
|---|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度
「郷土歴史館」の施設に対する市民の満足度	市民アンケートでの満足度(5点満点換算)	3.55	
「歴史や文化・芸術に親しめるまちをつくる」に対する市民の満足度	市民満足度調査での満足度(5点満点換算)		3.26

担当課	教育総務課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	全体の推進体制
<b>施策名</b>	1 教育委員会の活性化
<b>主な取組の内容</b>	<p>教育委員会会議・教育政策会議の開催（全体-1-(1)）                  定例及び臨時教育委員会会議を開催し、教育委員会の方針や規則の制定改廃などを上程し決定する。                  教育政策会議（ 5 ）を随時開催し、中長期課題などの協議や報告を行う。                  教育委員研修の充実（全体-1-(3)）                  県教育委員会連合会主催など各種研修に参加する。                  各種行事に参加し、現状を把握する。                  教育課題に対応した先進地視察を行う。</p>
<b>主な予算事業名</b>	教育委員会一般経費

**施策の実施状況、成果**

教育委員会会議・教育政策会議の開催（全体-1-(1)）  
 ○定例会を毎月1回の計12回、臨時会を4月・10月・11月・3月の4回開催し、適宜議案を上程した。  
 ○7月に点検・評価、8月・9月に組織機構、2月に新年度事業を議題として教育政策会議を開催した。  
 教育委員研修の充実（全体-1-(3)）  
 ○11月11日に高山で開催された岐阜県教育委員会連合会研修会、11月28日に美濃加茂市で開催された可茂地区教育委員研修会に参加した。  
 ○小中運動会、小中音楽会、エデュース9（ 6 ）公表会、生徒会サミット、青少年シンポジウム、成人式、手づくり絵本大賞表彰式、可児シティマラソンなど各種行事に出席した。  
 ○6月7・8日に学校規模適正化、埋蔵文化財及び災害対策を目的とし、大阪府八尾市及び兵庫県神戸市を視察した。



八尾市での視察の様子

担当課	教育総務課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	教育委員会会議の効率的な運営及び情報公開を踏まえた会議記録形式の変更の検討を進める必要がある。
------------	---

<b>今後の方針</b>	教育委員会会議の毎月の定例会開催による効率的かつ円滑な運営及び教育政策会議を開催し、教育委員会の活性化を図る。 会議運営方法及び記録形式の変更について検討を進める。
--------------	---

<b>評 価</b>	<b>B</b>	<b>施策の総括</b>	教育委員会会議及び教育政策会議を実施した。また委員の研修及び視察を計画どおり実施した。

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度

担当課	教育総務課
-----	-------

**平成23年度の重点**

<b>基本目標名</b>	全体の推進体制
<b>施策名</b>	2 効率的な教育行政運営
<b>主な取組の内容</b>	<p>情報・課題の共有（全体-2-(1)）                  教育委員会部課長会議を開催し、横断的な連携を図る。また、市長部局と関連する施策について、情報・課題を共有し、連携して取り組む。</p> <p>施策の分析、評価（全体-2-(2)）                  「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育委員会事務の点検・評価を活用し、教育基本計画の進捗管理ができるよう、内容を見直す。</p> <p>市民に開かれた教育行政の推進（全体-2-(3)）                  各施策の事業や結果をホームページや成果報告書の作成などにより公表する。</p>
<b>主な予算事業名</b>	教育総務一般経費

**施策の実施状況、成果**

情報・課題の共有（全体-2-(1)）  
 ○4月4日・5月26日・8月12日・9月1日・10月3日・11月30日の6回部課長会議を開催し、懸案事項の協議、答弁調整など連絡調整を図った。  
 また、就学前の子ども協議会や組織機構再編について、健康福祉部こども課や企画部総合政策課と連携しながら取り組んだ。

施策の分析、評価（全体-2-(2)）  
 ○教育基本計画のスタートに伴い、方針と重点も計画に即した様式とした。また、点検・評価についても基本計画の進捗管理が出来るよう様式を見直し実施した。

市民に開かれた教育行政の推進（全体-2-(3)）  
 ○教育委員会会議の会議開催案内と簡易記事録、教育委員会事務の点検・評価、学校規模適正化検討委員会の会議開催案内と議事録及び教育委員会表彰などを公表した。



学校規模適正化検討委員会の様子

担当課	教育総務課
-----	-------

**施策の課題及び今後の方針**

<b>課 題</b>	<p>教育部関連の中長期課題について、今後もその方向性を研究検討していく必要がある。          教育基本計画の進行管理にあわせ、教育委員会事務の点検・評価を新しい仕組みで平成24年度（平成23年度評価から）実施する必要がある。</p>	
<b>今後の方針</b>	<p>市民から信頼される教育行政の運営を目指し、教育委員会事務局各課及び関係機関と連携・情報交流を密にしながら、事務局の全体調整を行っていく。          決算認定、行政評価の報告時期との整合を図り、教育委員会事務の点検・評価を実施し、議会に報告するとともに公表する。          教育基本計画の各施策の実現に向けた事業の進行管理を行なう。          中期的な教育施設のあり方の検討を進める。</p>	
<b>評 価</b>	A	<p align="center"><b>施策の総括</b></p> <p>部課長会議など開催により部内の連携を図り、また協議会や打ち合わせなど市長部局との連携調整も適正に行った。          点検評価など確実に実施し、ホームページで公表した。</p>

- |  |
|--|
| A 順調に達成<br>B おおむね順調に達成<br>C 一部未達成<br>D 達成していない |
|--|

施策の実施状況、成果は、数字で示すことができるものばかりではありませんが、その施策実施状況の参考として、具体的に数値を測ることができる取組について、以下に記載しています。

参 考 指 標			
指 標 名	指標の説明	平成21年度 (目標設定時値)	平成23年度

## 【用語解説】

### 1 PFI (Private Finance Initiative)

プライベート・ファイナンス・イニシアティブ。国や自治体が行ってきた社会資本整備などの公共事業を、民間の資金やノウハウを活用して行う手法のこと。民間主導で建設・運営することで、建設費のコストダウンや公共サービスの効率化を図ることができる。

### 2 モニタリング (Monitoring)

予め設定しておいた計画や目標、指示について、その進捗状況を随時チェックすること。

### 3 パブリックコメント (Public comment)

行政が施策などについて意思決定を行う前に、広く市民から意見を集め、意思決定に反映させることを目的とした制度。

### 4 学校規模適正化検討委員会

市立小中学校の規模及び配置について、現状と課題を整理し、望ましい教育環境を整備するための適正規模及び適正配置のあり方について調査・検討するための委員会。

### 5 教育政策会議

教育委員会会議のほかに、教育委員が資質向上のための研修や、施策について協議を行う会議。

### 6 エデュース9 (Educe9, エデュースナイン)

平成14年度から推進している、“小中学校9年間を中心に、乳幼児から高校生までを含めて、家庭・地域・学校が協力して、意図的・計画的・継続的にまちぐるみで子どもを育てていこう”という可児市の市民運動。中学校区ごとに推進委員会を設置し、市民主体の活動を展開している。

### 7 小1プロブレム

小学校に入学したばかりの小学校1年生が集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続する状態。

### 8 学級アセスメント調査

教師の日常観察や面接による児童・生徒理解の限界を補い、個々の状態および学級の状態を理解するための、客観的で多面的な資料を提供することを目的としたアンケート調査(Q-Uテスト)。

- 9 いじめ防止第三者機関検討委員会  
小中学校に通う子どもの、いじめ防止を図るための第三者機関を検討する委員会。
- 10 可児市学校教育力向上事業  
平成 24 年度の新規事業であり、児童生徒の「生活」や「学習」の状況をアンケートと学力検査によって把握し、専門家の指導を受け、生活の様子や学び方等に配慮した対応を通して、過ごしやすい学びやすい学校生活作りを目指すもの。
- 11 A L T ( Assistant of Language Teacher )  
アシスタント・オブ・ランゲッジ・ティーチャー（外国語指導助手）。学校で外国語授業の補助を行う。
- 12 ばら教室 K A N I  
市立小中学校へ就学する外国人児童生徒を対象として、各学校に籍を置きながら学校教育で必要な生活指導や初期的な日本語指導を集中的に行い、学校の国際教室へ通学するまでの支援を行う通級教室。
- 13 ふれあい教室かに  
小・中学校の通常の学級に在籍している L D（学習障害）、A D H D（注意欠陥/多動性障害）、高機能自閉症等と考えられる児童生徒が、各教科等の指導は主として通常の学級で受けながら、障がいの状態に応じた特別な指導を受けるための専門の指導の場である。
- 14 ケース会議  
障がいや発達につまずきのある子どもを支援するために、必要な関係者が集まって当事者の思いやニーズに沿った支援策を協議する場のこと。福祉関係者や教育関係者、医療関係者などが話し合う。
- 15 可児市教育研究所  
教育に関する研究調査及び教育関係職員の研修を行う機関。
- 16 スマイルングルーム ( Smiling Room )  
不登校の児童等への教育支援（通級教室、体験学習等）を行う適応指導教室。「スマイルングルーム」は適応指導教室の通称。
- 17 児童クラブ  
昼間保護者等のいない家庭の児童（1年生～3年生）の生活指導を行うため、放課後に小学校敷地内（兼山小学校除く。）に開設される遊びや生活の場。

18 高齢者大学

健康で生き甲斐ある豊かな生活を作り出すため、市在住の60歳以上の方を対象に月1回程度の講座の開講やクラブ活動を行うもの。

19 高齢者大学大学院

高齢者大学を過去2年以上受講した者を対象に、更に深い知識を学ぶため、2年間のカリキュラムで月1回程度講座を行うもの。

20 U N I C (ユニック)

可児市の総合型地域スポーツ・文化クラブ。種目、世代や年齢、技術レベルの多様性をもち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民のニーズに応じたスポーツや文化活動を優秀な指導者のもとに行えるクラブ。なお、兼山地区においては、平成12年度から総合型地域スポーツクラブとして「蘭丸の里スポーツクラブ」が活動している。

21 可児市体育施設総合整備計画

平成15年3月に策定した市の体育振興に関する基本方針や施設整備の方向性、施設の管理・運用及びスポーツ環境面などを示した計画。

22 デモスポ (Demonstration Sport)

デモンストレーションとしてのスポーツ行事で、可児市では3B体操とグラウンド・ゴルフが行われる。(3B体操: ボール、ベル、ベルダーの用具を運動の助けとして利用しながら、すべての動きを音楽に合わせ、仲間と楽しく行う健康体操)

23 ミナモ運動

平成24年に開催されるぎふ清流国体及びぎふ清流大会の開催機運を盛り上げるための県民運動。「おもてなし」「スポーツ・健康」「美しい環境と清流」をキーワードに、可児市では大会を飾る花バラの育成、ミナモダンス・ミナモ体操の普及、花いっぱい運動との連携などの活動を行う。

24 うちどく10 (テン)

「家庭での読書(家読)」を推進する取り組み。読書の目標として、1日10分、1ヶ月で10冊など、家庭で自由に設定してもらえよう数字の「10」をつけている。

25 ブックトーク (Book talk)

あるテーマについて、テーマに関する何冊かの本を聞き手に紹介すること。本の内容を教えるのではなく、その本の面白さを伝え、その本を読みたいという気持ちを起こさせることを目的として行う。

26 パスファインダー (Pathfinder)

特定のテーマに関する文献や情報の探し方・調べ方の手順を説明した案内。可児市立図書館では、「インフルエンザ」「ボランティア」などテーマごとにチラシを作成している。